



ちばの緑

平成23年1月1日

第 69 号

社団法人 千葉県造園緑化工事業協会



広尾防災公園（市川市）

目次

年頭のごあいさつ（千葉県知事）	P2	第30回緑の都市賞において（松戸市）	P14～P15	植木生産者と連携した造園のPR	P31
年頭のごあいさつ（協会長）	P3	第30回緑の都市賞において（千葉市）	P16～P17	委員会報告	P32～P35
平成22年度千葉県公園緑地行政の動向について	P4～P5	「ひろげよう育てようみどりの都市」全国大会	P18	お知らせコーナー	P36～P37
「ゆめ半島千葉国体」総合開会式参加報告	P6	景観整備機構の活動に対し感謝状	P19	訓練生募集のお知らせ	P38
茂原樟陽高校の造園実習	P7	樹木紹介 ウグイスカグラ	P20～P21	会員名簿	P39～P42
海岸林のマツ枯れと保全活動	P8～P9	関東甲信造園建設業協会協議会開催	P22～P24	千葉県の巨樹・古木紹介シリーズ⑩	P43
歳神様をお迎えする目印“門松”	P10～P11	千葉県関係部局との意見交換会開催	P25～P27		
第26回都市公園コンクールにおいて（市川市）	P12～P13	第27回 全国都市緑化ならフェア視察記	P28～P30		

年頭のごあいさつ



千葉県知事 森田 健作

新年明けましておめでとうございます。

社団法人千葉県造園緑化工事業協会の皆様には、さわやかな新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

今年の干支「卯」は、その軽やかに跳躍する姿から飛躍のシンボルとなり、また、愛嬌のある姿により周囲を明るく穏やかにするため、多くの幸せをもたらす動物として親しまれています。「うさぎ」にあやかり、本年が、素晴らしく、幸せに満ちあふれた年となりますことを願っています。

さて、昨年を振り返りますと、37年ぶりの国体「ゆめ半島千葉国体」、全国障害者スポーツ大会「ゆめ半島千葉大会」が開催され、国体での完全優勝と千葉大会での過去最高の成績とともに、貴協会の皆様をはじめとした620万県民の皆様の御支援、御協力によりまして、大会を大成功とさせることができました。

協会の皆様には、ここにあらためて、厚く御礼申し上げます。

この他、成田高校野球部、市立船橋高校サッカー部や千葉ロッテマリーンズなどが、「チームスピリット」を発揮して大活躍し、千葉県民に大きな自信と誇りを与えるとともに、目標に向かって決して諦めない取組みが、飛躍に結びつくことを教えてくれました。

一方、世界的な景気の低迷が続き、日本経済はもとより、県内経済が依然として厳しい状況が続いています。

千葉県では、今後の県政運営の基本となる千葉県総合計画「輝け！ちば元気プラン」を策定し、「くら

し満足度日本一」の基本理念のもと、県民の皆様が、日本で一番暮らしやすいと感じ、「千葉で生まれ、住み、働いてよかった」と誇りに思っていただける千葉県を目指し、各種施策に取り組んでいるところです。

特に、成田国際空港については、年間発着枠30万回の合意を受けて、環境対策の一層の充実に努めるとともに、空港の更なる機能強化と、空港への鉄道、道路アクセスの改善など利便性の向上を目指したいと考えています。

さらに、東京湾アクアラインの料金引下げ社会実験については、首都圏の交通ネットワークの強化に貢献し、人やモノの動きが活発になるなどの経済効果を発揮しているところであり、平成23年度からの国策による恒久的な料金引下げの実現に向け、私が先頭に立って取り組んでまいりますので、皆様にも是非応援をよろしくお願いいたします。

本年は、総合計画の2年目となる重要な年であり、災害時における緊急輸送道路等の防災対策や交通安全対策を推進し、「安全で安心して暮らせる社会づくり」を進めるとともに、「活力ある交流拠点都市・基盤づくり」を進めてまいります。

こうした施策を展開する上で、インフラ整備の基礎となる造園工事業という業務の持つ重要性は言うまでもありません。

今後とも、貴協会の皆様には、魅力と活力のある県土づくりに御支援・御協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

結びに、社団法人千葉県造園緑化工事業協会の本年の益々の御発展と会員の皆様の御活躍を祈念申し上げます。年頭のあいさつといたします。

年頭のごあいさつ



(社)千葉県造園緑化工事業協会 会長 池谷 晃

新年明けましておめでとうございます。

平素、会員の皆様をはじめ、関係行政機関や関係団体の方々からご高配とご支援を賜り心から感謝申し上げます。

昨年は、10月に愛知県名古屋市において生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が開催されました。

この会議では、2010年以降の保全目標や遺伝資源利用に関する議定書づくりをめぐり、先進国と発展途上国の対立が際立ちましたが、一方で、多くの生物を育む我が国の里地・里山が高く評価された会議でもありました。

里地・里山は、人々の暮らしに結びつくことによって維持されてきましたが、農業や林業の生産構造、そして日本人の生活そのものが大きく変化したことにより、私たちはその価値を見失いかけていたところでしたから、多くの識者からその有用性が指摘されたことは、大変良かったと思っております。

また、今年の夏は各地で35度以上を記録し、猛暑を越え酷暑とさえ言われました。特に都市部では、クーラーやアスファルトからの放熱によりヒートアイランド現象が発生、その対策として都市公園や街路樹など植物の効果がクローズアップされました。

佐渡の朱鷺の例を挙げるまでもなく、希少価値のある動植物の保護は訴えやすく、また守られやすい状況にあります。

しかし、里山にしろ、都市の“みどり”にしろ、余りにも身近な存在であることから、いつの間にか失われ、失ってしまってからその価値に気付くことが多いのですが、復元に要するエネルギーは、維持の経費に比べものにならないほど膨大になります。

21世紀は環境の世紀です。

我々造園業は、建設業28業種のうち唯一植物を扱い、緑豊かな快適な暮らしづくりに貢献していますが、今後は、環境をキーワードに、建物の壁面や屋上の緑化を始め、校庭の芝生化や里山保全、さらにビオトープ等々、新たな領域にも積極的に進出していく必要があります。

そのためには、我々の技術・技能の更なる向上が必要であり、また、業界そのものの社会的な認知度向上も不可欠です。

昨年協会では、造園専門資格取得のための各種講習会を始め、造園を学ぶ高校生の実習受け入れ、植木生産者と連携した造園の啓発、ちば国体の協賛などを行ってきました。

そのような活動の中で、千葉県知事から指定を受けている景観整備機構の活動として取り組んだ街路樹管理の支援活動に対し、大網白里町から感謝状を頂き身に余る光栄でした。

新年においても、会員一人ひとりのレベルアップを図るとともに、本県のみならず国民共有の財産とも言える九十九里の海岸林において白砂青松再生のお手伝いなど、造園業界の持つノウハウを活かした社会貢献活動も行って参りますので、会員各位のご理解ご協力、並びに、関係機関の皆様のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

新しい年が皆様方にとりましてすばらしい年となりますようご祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。

平成22年度 千葉県公園緑地行政の 動向について



千葉県県土整備部
公園緑地課長
田中 弘和

1 はじめに

社団法人千葉県造園緑化工事業協会の皆様には、日ごろ、千葉県の公園緑地行政にご理解、ご協力をたまわり、深く感謝いたしております。

また、貴協会におかれましては、景観法に基づく「景観整備機構」としての指定を受けられ、本県の景観の保全・創出にご尽力いただいておりますとともに、「地震・風水害・その他の災害応急対策に関する業務協定」に基づき、災害時における避難場所確保等に向けた県立都市公園の早期復旧にもご協力いただけることとされており、重ねてお礼申し上げる次第です。

さて、都市公園を含め、都市の緑は、日常生活の中で、あるいはレジャーの場として、人々に安らぎや癒しを与えてくれる大事な空間であるとともに、その効用は、良好な景観といった新たな価値観をも生み出すなどかけがえのない財産と言えます。そして、その保全と創出が、ヒートアイランド現象の緩和、二酸化炭素の吸収などの効果を通じて、環境問題における重要なファクターとしても捉えられています。

このため、県では、これまでに13箇所の県立都市公園を整備（うち天台スポーツセンターは教育庁の管理となっている）し、供用しているとともに、市町村等との協力のもとで、各種緑地保全制度などの適切な活用を図りながら、都市における良好な緑地の保全・創出に取り組んでいるところです。

そして更には、そうした都市の緑を含め、より幅広い観点から街の景観づくりを捉え、市町村、景観づくり地域活動団体、NPOなど、多くの団体やその関係者との協力のもと、良好な景観づくりに向けた協働の環を広げていく取組も本格化しつつあります。

そこで、以下では、都市の緑の保全・創出や景観づくりに関して、県がどのように取り組んでいるかを紹介させていただきます。

2 県立都市公園の整備と管理について

まずは、整備面ですが、平成22年4月に柏の葉公園の野球場がオープンしたことにより、柏の葉公園の整備事業は完了いたしました。この野球場では、地元市民のイニシアチブにより完成記念的な意味合いでのロッテ対巨人戦が行われるなど、地域に愛される野球場になりつつあります。

この公園の完成により、県で、現在、完成に向けて整備を進めている公園は、長生の森公園、八千代広域公園及び市野谷の森公園の3箇所となっています。いずれも良好な環境に十分に配慮しながら、段階的に整備していくこととしております。

次に、維持管理面ですが、公園施設の経年劣化の進行に伴う維持管理費の増大が予想される中、将来の維持補修や改築、更新に係るコストの縮減を図ることが重要な課題となっています。そこで、今後の公園施設の維持管理については、事後的な維持管理から予防保全的な維持管理への転換を図り、施設の長寿命化によるコスト縮減を図っていく必要があります。

このため、県では、12箇所の県立都市公園について、公園施設長寿命化計画を策定することとしています。

具体的には、公園施設の現地調査を行い、施設の健全度を判定し、維持管理手法や補修、改築、更新計画等の検討・策定を行います。

平成22年度は、青葉の森公園、幕張海浜公園、蓮沼海浜公園、館山運動公園及び富津公園の5箇所について公園施設長



県立柏の葉公園野球場
(平成22年4月オープン)

寿命化計画の策定作業を進めているところです。残る7箇所についても平成23年度以降、順次、公園施設長寿命化計画の策定を行っていく予定です。

そして、公園施設長寿命化計画の策定後は、計画に沿った公園施設の点検、維持補修、改築、更新を行うことにより、施設の長寿命化やこれに伴う予算の平準化、ライフサイクルコストの低減を図ることが可能になるものと考えています。

そうした一連の取組を通して、県立都市公園をより一層安全で快適に利用できるようにしていきたいと考えています。

3 都市の緑の保全・創出について

市街地における緑地の保全、緑化の推進については、新築や増築を行う場合に緑化を義務付ける「緑化地域制度」や、建築、造成などの行為を許可制として緑地を保全する「特別緑地保全地区制度」などの制度があります。

このため、県では、まちづくりにおいて中心的役割を担う市町村に必要な協力をを行いながら、地域の良好な緑地の保全が促進されるよう努めているところです。

また、県民、事業者の皆様においても身近な緑化手法である、屋上緑化や壁面緑化が市街地の緑化推進手法として注目されています。国土交通省の調査では、平成12年から平成20年の8年間に、全国の施工実績として、屋上緑化は14ヘクタールから約17倍の242ヘクタールに、また壁面緑化は0.2ヘクタールから100倍以上の24ヘクタールへと大幅に増加しています。

緑地の保全、緑化の推進は、民有地での対応が大きく影響するものであり、公共も民間も一体となって取り組んでいくことが重要です。

このため、県では、県民の皆様にも、緑についてもっと関心を持っていただけるよう「緑のカーテン」などの普及啓発活動を進めているところですが、さらに市町村や関係機関等との連携のもとで、屋上緑化や壁面緑化などの取組を広げたいと考えています。



北総花の丘公園の緑のカーテン

4 良好な景観形成の推進について

良好な景観は、住む人に快適さや潤い、安らぎをもたらすとともに、地域の活性化にもつながる県民共有の財産です。

このため、県では、平成20年4月に施行した「千葉県良好な景観の形成の推進に関する条例」に基づき、平成21年3月には「千葉県良好な景観の形成に関する基本方針」及び「千葉県公共事業景観形成指針」を策定し、良好な景観づくりを総合的に推進しているところです。

具体的には、良好な景観形成は、住民の主体的な参画があって、はじめて実現できるものであるため、条例に基づく「景観づくり地域活動団体」として、現在までに10団体を認定し、景観形成活動を支援するとともに、県内各地で景観セミナーを開催するなど、景観づくりへの県民参加の促進に積極的に取り組んでいます。

また、景観づくりには、市町村の役割が重要であることから、市町村が景観法に基づく景観行政団体となって、地域住民との協働により、良好な景観を保全し、作り出していけるよう、必要な支援、連携に努めています。

その結果、平成22年度に移行した茂原市と香取市を加え、現在、13市が景観行政団体として、地域の景観づくりに取り組んでいます。

県では、そうした市町村、景観づくり地域活動団体をはじめ、「全ての人々が当事者」という認識のもとで、これからも景観づくりに取り組んでいきたいと考えています。

ひとくちに景観づくりと言っても、そこには様々な要素が入り組んでいるものであるため、それぞれの分野の専門的な知見が必要となります。

そうした意味で、景観法に基づく「景観整備機構」に指定させていただいている社団法人千葉県造園緑化工業協会の皆様には、今後とも、専門知識を生かした活動を通じて、本県の良好な景観づくりにご協力をお願いいたしますとともに、社会的要請に的確に応えながら公園緑地行政を円滑に進めて

いくためにも、ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。



第1回景観セミナー
(於：山武市成東文化会館のぎくプラザ)

『ゆめ半島千葉国体』 総合開会式参加報告

日時：平成22年9月25日(土) 午前10時40分～午後3時30分
場所：千葉マリスタジアム



ゆめ半島千葉国体



入場する千葉県選手団



チーバ君と草花

前日夜からかなり強く降っていた雨も午前中には上がり、開会式スタートには素晴らしい晴天が広がりました。千葉マリスタジアムで行われた第65回国民体育大会「ゆめ半島千葉国体」の総合開会式は、オープニングプログラムの後、天皇・皇后両陛下をお迎えして行われました。

午後1時過ぎから式典前演技が披露され、開式通告に続いて沖縄県を先頭に47都道府県選手団が入場、スタンドからは割れんばかりの声援が送られました。全選手団入場後、炬火の点火、選手代表宣誓と予定通りに進められ盛大に開会されました。

協会として本大会には企業協賛制度のオフィシャルサプライヤーとして千葉県と契約を交わし、「おもてなし活動」の一環として花いっぱい運動を推進し、競技会場や沿道等を草花で飾る為のプランター用土を各市町村に寄贈しました。

秋晴れの中、会場周辺のプランターに彩られた草花がいきいきと輝いていました。

ゼロ災害でいつも健康 あかるい職場

千葉労働局長登録教習機関

(技能講習・特別教育・安全衛生教育・能力向上教育)

- ◇木材加工用機械作業主任者技能講習
- ◇チェーンソーを用いる伐木等特別教育
- ◇刈払機取扱作業員に対する安全衛生教育

※下記へお問い合わせください。

林業・木材製造業労働災害防止協会 千葉県支部

(略称：林災防千葉県支部／担当 太田) 〒283-0823 東金市山田 800番地
TEL 0475-53-2611 FAX 0475-53-2000
<http://www4.ocn.ne.jp/~w-chiba/>



茂原樟陽高校の造園実習

造園業界の発展のためには、継続した人材養成が不可欠です。このため、造園を学ぶ高校生を対象した「造園工事現場研修」を行いました。

平成22年9月29日と10月13日の2日間、茂原樟陽高校緑地計画デザインコースの2年生19名と3年生2名が参加し、造園工事の現場を視察するとともに、剪定作業などを実習しました。



茂原樟陽高校の生徒たち

この研修は、**千葉県魅力ある建設事業推進協議会（CCIちば）**が進める後継者育成に向けた取り組みの一環として、茂原樟陽高校からの要請により実施したもので、千葉国体の開会式にあたり仮設通路を建設するため、幕張メッセの植樹帯の一部を伐採、その復元のための造園工事です。

当日は、スダジイ、クスノキなどの植栽木の剪定と幹巻き、アオキやウバメガシなど中・低木の植栽時の表裏の見分け方、芝張りなどを行いました。

引率の金田晃教諭は「この研修により、生徒は造園の苦労とともに、楽しさも実感している。貴重な体験ができ感謝している。」

また、参加した生徒からは「はじめはこんなに枝を切ってしまうのかわろしかったが、やっているうちに何となく分かった感じがする。学校ではここまで出来ないのだから参加して良かった。」と話していました。

従来にも、夏休みを利用し、造園課程を置く高校からインターンシップを受け入れてきましたが、今後もこのような取り組みを積極的に実施し、若者達の造園建設業に対する理解促進を図りたいと思います。



海岸林のマツ枯れと 保全活動

—日本の松原再生運動のねらい—



(財) 日本緑化センター 企画広報室長 瀧 邦夫

1.日本の海岸林

第5回自然環境保全基礎調査海岸改変状況調査(1996・97年、環境省)によれば、わが国の海岸線総延長は32,799.02km、このうち自然海岸(海岸が人工によって改変されないで自然の状態を保持)は半分の53.1%、半自然海岸は13.0%、人工海岸は33.0%である。

自然海岸は、さらに「海岸に浜が発達していない海岸」が49.9%と最も多く(8,692.40km)、「砂浜海岸」が20.1%(3,491.92km)、「礫浜海岸」が5.8%(1,011.24km)、「磯浜海岸」が23.0%(4,001.31km)となっている。

平成22年版「森林・林業白書」(林野庁)による保安林の種類別面積は、延べ面積で12,606千haである。これら保安林のうち、海岸保安林面積として計上できるものを魚つき・航行目標の保安林、さらに飛砂

防備・防風・潮害防備・防霧保安林として集計すると合計でおよそ206千ha、うち国有林50千ha、民有林156千haとなる。

当センター作成の「Web版身近な松原散策ガイド」では、内陸の松原を含め全国120箇所(平成22年8月現在)の松原を掲載している。面積の合計は18,144ha、総延長は624kmにおよぶ。

2.マツ枯れ被害量

林野庁による全国の松くい虫被害量(被害材積)は、昭和53~56年度200万m³台、昭和57~平成7年度100万m³台、8年度以降は漸次60万m³台へ低減し、平成21年度59万m³の水準にある。被害の発生地域は、28年ぶりに新たな地域(青森県)での発生が確認され、北海道を除く46都府県となった。千葉県における最近5年間の被害量をみると、平成17年度5,100m³から平成21年度12,000m³へ増える傾向にある。わが国に侵入したマツ材線虫病が最初に確認されたのは明治38年頃(1905年)の長崎県であり、100年以上を経過した今日も、この病害は依然として日本の松原に脅威を及ぼし続けている。

3.各地に根づく保全活動の息吹

全国の海岸林では、地元の人たちによる様々な保全活動が展開されている。山形県の庄内海岸砂防林は2市1町にまたがる33kmの松原、北側に位置する遊佐町には地元の農業者を中心に砂丘地砂防林環境整備推進協議会がある。活動の1つは、佐藤藤蔵祭と呼



九十九里海岸(千葉県提供)

ばれる江戸時代この地に砂防林を造成した郷土の先人を振り返る子ども達による寸劇を西遊佐小学校で毎年行っていることである。まさしく、地域一丸となって将来に渡り郷土の財産を守り続ける強い意志を感じることができる。

当センターの機関誌「グリーン・エージ」では、各地の活動グループにスポットをあてた『現代の松原人』を連載し、これまで11事例を紹介している。地域の人たちの地道な活動を情報発信するとともに、松林防除の現場技術者を養成する目的で、平成16年度より松保護士養成事業を立ち上げ、全国に349人（平成22年4月現在）の松保護士を生み出している。さらに、現場における優れた防除技術向上を図るため、各地で松林防除実践講座を開催し、今年度は富津岬公園の県有林において11月に実施した。

4.日本の松原再生運動のねらい

わが国の松原は、地域の人たちにとって里山であり、生活燃料や農業に必要な堆肥原料の大切な供給源であった。落葉、枯枝、枯木が常に運び出されていたことによって、林床は腐植が堆積しないマツにとって良好な土壌状態を維持されていたわけである。この人と松原の関係が燃料革命の到来とともに姿を消したことが、今日の松原衰退の1つの要因である。

そこで、松原から人々の足が遠のいてしまった点に着目して、松原の有する3つの資源価値（環境・観光・健康資源）を高める活動を行うことを通して、地域の人たちも元気になる社会的意義へ発展させて

いくことにより、ふたたび地域の人たちが松原へ足を運ぶことになると考える。人と松原の関係を再生することが、日本の松原再生運動のねらいである。

運動の理念をわかりやすく伝えるため、地元と一緒に松原再生モデル計画を3箇所作成し、目下2箇所で作成中であり、さらに未来の松原をめざす子供の松原再生モデル植樹を14箇所で行い、25箇所を目標としている（<http://www.pinerescue.jp>）。

「白砂青松^{はくしゃせいしょう}」は、明治7年の「萬国地誌略」に登場する白沙青松の熟語が起源であり、日本の松原、日本人の原風景をみごとに表現している。海岸線に連続と続く白砂青松の松原はそれ自体が世界自然遺産に登録する価値を有するものといえる。



山武市緑海小学校の子供の松原再生モデル植樹（平成22年2月）

図面も! 写真も!

土木施工全般の電子化を「武蔵」がサポート!!

NEW! PDFデータの利活用が可能!

PDFデータの図面や表をCADデータに変換でき加筆・修正が可能に。発注図がPDFの場合に大変便利です!

PDF取込アシストプログラム

●CADデータ

●PDFデータ

造園土木業の首脳! 造園業でのCAD導入業者様が増えています!



入ライセンスフリー!!

コストを抑えて業務の効率化を実現

CALS対応土木システム【エクストランド 武蔵】

武蔵

2011

EXTREND

ご存じですか?「武蔵.TV」

簡単!キレイ!施工計画書作成

イラスト・CAD部品 約70,000点収録!

無料土木部品ダウンロードサイト「武蔵.TV」のデータをドラッグ&ドロップで簡単配置。繰り返しの修正もでき図面や施工計画書作成がスピーディに!

今すぐご登録を!

www.musashi.tv

ドラッグ&ドロップで簡単貼り付け!

体験版DL・資料請求・お問合せは

福井コンピュータ

検索

福井コンピュータ株式会社

千葉営業所 / 千葉市中央区弁天1-21-3石橋弁天ビル3F
Tel.043-284-6910・Fax043-284-6960

「歳神様をお迎えする目印 “門松”」



千葉県こども病院 伊達院長とともに

新年の清々しい空気の中に凜として立つ門松。

松と竹の緑は瑞々しい生命、そしてその命を支える食べ物を象徴する稲で形作られたその造形美は、質素でありながら日本人の感性の豊かさを感じさせるものです。

門松の起源は、平安時代まで遡り、当初は根付きの松を^{としがみさま}歳神様が降臨する時の見印である「依代」としたのが始まりで、室町時代に現在のような形が出来上がったといわれています。

インターネットで調べても諸説がありますが、まあこんなところが落ち着きどころでしょうか。

ところで、皆さんが目にする門松の竹の先端はどのように切られていますか。水平の切り口を「寸胴」、斜めに切ったものを「そぎ」といい、現在ではそぎが一般的となっています。

おもしろい謂われの一つ。江戸幕府の開祖である徳川家康が数ある戦いの中で唯一苦杯をなめた三方ヶ原の武田勢との戦。よほど悔しかったのか、次の戦では必ず切り倒してやるとばかりに、家来たちが作った門松の竹の先端を切り落としたのが「そぎ」の始まりとか。

現在では、本格的な門松は銀行や高級割烹などでは飾らなくなり、大多数の個人住宅では市町村等から配布される「門松カード」で代用しています。

これも森林保護の観点から致し方ないことと思う一方、伝統文化の一つとして由来や作り方はしっかりと継承していくことが必要と思われます。

そこで、協会では本格的な門松づくり講習会を開催し、技術の伝承を図るとともに、完成した門松を千葉県こども病院等に寄贈させて頂きました。



本格的な門松の作り方



1

「すぐりワラ」を
空缶(20R)にまく



2

荒縄でしばる



3

下から7巻、5巻、3巻、
男結し、結び目は
前面に



4

上縁を編む
(訓れば意外と
やさしい)



5

上・下縁をそろえる



6

3本の竹の節を
そろえる



7

仮止めし、
切口を確認



8

節をかけて
斜めに切る



9

切口をカンナで
仕上げる



10

切口面を揃え
土台の中へ、
砂を入れ固定



11

松枝を隙間なく
押し込む



12

松は扇形に。
御幣と南天を付けて
完成
(長い竹を内側に飾る)

第26回 都市公園コンクールにおいて国土交通省都市・地域整備局長賞を受賞 歴史ある旧行徳市街地で緑地空間の拡大と 防災機能の向上をテーマに 「広尾防災公園」を整備

市川市 行徳支所長 田草川 信慈



はじめに

広尾防災公園のある行徳地区は、市川市の最南部に位置し、四方を海と川に囲まれています。県内で最も過密な地区のひとつであり、特に歴史的なまち並みの残る旧市街地は防災や緑が少ないことが地区の課題となっていました。そこで、平成17年度に防災、緑化そして景観をテーマとした「旧行徳市街地地区都市再生整備計画」を策定しました。広尾防災公園は、その中核となる施設として、平成21年度末までの5ヵ年で整備を行ったものです。

その整備にあたっては、密集市街地において無電柱化等の道路整備、消防出張所の建設、複合福祉施設の建設、そしてポンプ場の改築工事など多くの周辺工事との調整や近隣住民への配慮について様々な工夫と努力を凝らしてきました。その結果として第26回都市公園コンクールの造園施工部門で賞をいただきました。

計画から整備までの流れ

平成15年度	製鋼所が自主廃業
平成16年度	市議会を経て、都市公園区域を決定
平成17年度	旧行徳市街地地区（約159ha）の都市再生整備計画を策定 近隣住民等による策定懇談会を開催し、基本計画を策定（平成17～18年度）
平成18年度	都市計画決定、事業認可
平成19年度	地中障害物の撤去、雨水貯留槽等の地下構造物の整備
平成20年度	基盤整備、施設整備等の工事
平成21年度	造園や建築等の工事 管理運営について住民検討会を開催
平成22年度	4月1日に開園

公園の概要

- 面積：約3.7ha
- 開園日：平成22年4月1日
- 公園種別：地区公園
- 避難圏域：概ね1km圏内の約13,000人



市民との協働

近隣自治会及び関係団体とともに基本設計を策定しました。工事中は工事の進捗が分かるような現場での掲示や「現場だより」を発行し、徐々に出来てくる公園と現状について積極的な情報提供を行うことで、住民の理解を醸成するための取組みを行いました。

また、平成21年度には、開園後について議論を重ね、利用ルールや管理方針について決めています。

平成22年3月27日に行われたオープニングセレモニーには多くの市民がボランティアとして参加し、様々なアトラクションでイベントを盛り上げていただきました。

各ゾーンの計画と工夫

市川市では、全国に先駆けて平成16年度に開園した大洲防災公園があり、本市2つ目の防災公園となる広尾防災公園は、市民の意見と大洲防災公園の経験を設計に反映し、より使いやすく工夫しています。



<健康の広場> 100m×70m、高さ8mの防球ネットに囲まれた全面芝生の広場は、緊急時にはヘリポートになります。写真は7月に行われた防災訓練で、自衛隊最大のヘリが着陸した際のものでした。



<憩いの広場> 憩いの広場も全面芝生の広場で、デイキャンプが楽しめます。複合遊具は、近隣の方々へのアンケート調査で決めました。手前に見える水景施設は猛暑の今夏は大人気でした。



<植栽> 四季折々の樹木が植栽されていますが、行

徳は平坦な地形なので、ちょっとした丘を雑木林にしました。また、行徳の原風景「ハス田」を再現し、スイレンとハスが花を咲かせ、池にはメダカが泳いでいます。市の花「バラ」も綺麗に咲きほこります。



災害時には大型テントになるステージパーゴラ



カマド型ベンチ&スツール

非常用トイレ



<防災施設> 防災施設の一部を紹介します。専用のシートを被せると大型テントになるパーゴラ、座部を外すとカマドになるベンチとスツールや非常用トイレ等を随所に設置しています。



<休憩広場> 川沿いを散策する市民の休憩広場となりますが、防災公園の災害時動線を確保し、防災機能を向上させるため、現在、千葉県において緊急用船着場の整備を行っています。

おわりに

様々な制約のなか、関連する全ての工事が無事に完了し、そして開園しました。しかし、工事の完了は公園の完成ではなく、生きている憩いの空間である「公園」は、ここからがスタートです。防災公園として十分に機能を発揮していくために、地元住民の積極的な参加が必要です。今後はソフト面の充実化を進め、いつまでも愛される公園になることを願っています。

第30回 緑の都市賞 緑の都市づくり部門において 国土交通大臣賞を受賞

市民が主役！みどりの市民力によるまちづくり



松戸市 都市整備本部都市緑花担当部みどりと花の課長 島村 宏之

はじめに

社団法人千葉県造園緑化工事業協会の皆様には、日頃より松戸市の緑行政にご理解、ご協力をいただき、感謝申し上げます。

平成22年10月29日、日比谷公会堂で開催された「ひろげよう 育てよう みどりの都市」全国大会において、松戸市として（財）都市緑化基金主催の第30回緑の都市賞における「国土交通大臣賞」を受賞いたしました。県内の自治体として、国土交通大臣賞は千葉市（第4回）、流山市（第29回）に次いで3番目になります。



都市・地域整備局長から本郷谷市長が表彰状を受け取りました

松戸市の概要

松戸市は、都心に近接した位置と、市内に6路線23

駅を有した交通利便性の高い、人口約48万人の生活都市です。地形的には江戸川沿いの低地から下総台地へと起伏に富み、斜面樹林や江戸川をはじめとした河川が多いのが特徴です。

まちづくりの基本方針「住んでよいまち・訪ねてよいまち」を実現するため、水・みどり・歴史資源を大切に作る都市づくりを目指しています。

5年前の受賞をきっかけに

松戸市は、平成17年度に第25回緑の都市賞に応募し、面積50.5haの自然尊重型の都市公園「21世紀の森と広場」を市の事業として行い、市内の緑の拠点として整備したことや、総延長約70キロメートル、1万本を超える街路樹ネットワークなどが評価され、「都市緑化基金会長賞」を受賞させていただきました。

評価された緑施策

今回の「国土交通大臣賞」は以後5年間で新たに取組んだ以下の成果が評価されたものです。

①松戸みどりの市民憲章の制定

平成16年10月、松戸市では、みどりと共に暮らす豊かさを大切に思い、松戸のみどりを育てていくため、みどりのまちづくりの理念として「松戸みどりの市民憲章」を制定しました。憲章の精神を反映した具体的なアクションプランを市民・企業・行政がそれぞれの立場から協働して行動してきました。



毎年4月29日に21世紀の森と広場にて「緑と花のフェスティバル」を開催しています。

②松戸市緑の基本計画の改定と「みどりの市民力」

平成32年（2020年）を計画期間として平成10年度に「緑の基本計画」を策定し、樹林地の保全や公園整備、緑化推進などに取組んできましたが、市長の諮問機関である「松戸市緑推進委員会」と共に見直しを行い、中間年次にあたる平成20年度に全面改定しました。「松戸みどりの市民憲章」を超長期的な計画理念と位置づけ、市民、企業、行政、市民団体、学校・大学、(財)松戸みどりと花の基金、みどりの所有者などの各主体の結束によって、みどりに関する課題を解決していく力を「みどりの市民力」と定義し、計画全体に新たに反映させました。

③全国初の緑地管理協定の締結

地球環境問題が顕在化する中で、持続可能な都市づくりが強く求められており、市街地の貴重な自然環境である樹林地の保全が全国的な政策課題となっています。

松戸市においても産業構造の変化と都市化の進行に伴い、所有者のみでは解決できない多くの問題を抱えているという声が寄せられています。

このような現状を踏まえ、都市緑地法に基づく「栗山特別緑地保全地区」内で民有樹林地を対象とした緑地管理協定を平成21年10月に締結しました。

所有者との協定に基づき、急な斜面林の樹木管理を市が行うことによって、所有者の負担を軽減し、本来、樹林地が有する公益機能としての環境保全機能を回復し、周辺の市街地にとっても生活環境と調和した自然環境を享受することが可能となりました。

④「みどりの市民力」による様々な活動

市民との協働による「里やまボランティア入門講座」は都市に残された貴重な民有樹林地保全における新たな担い手づくりのため、平成15年度から毎

年、市民団体との協働で開催しています。

現在は「松戸里やま応援団」として7つの市民団体が活躍しており、手入れのされた樹林地の一部は、所有者の協力のもとで、観察会や森の音楽会などの催しに公開され、『地域の宝物』として認められた存在になりつつあります。



「松戸里やま応援団」による民有樹林地の保全活動風景。

また、花いっぱい運動を実践している各団体間の情報共有と連携を目的とした「松戸花壇づくりネットワーク」や、都市公園での市民協働による運営・維持管理が地域活動にまで広がりをみせている「根本内歴史公園サポーター」が活躍しています。



東松戸ゆいの花公園での「松戸花壇づくりネットワーク」の活動風景。「市民一人ひとりが「花」によって結ばれ「花」を通じて輪がひろがり心の潤いや安らぎを感じてもらえれば」という思いを「結（ゆ）いの花」という名に込め名づけた公園です。

おわりに

今回の受賞は、「みどりの市民力」による活動の成果が評価されたものです。「みどりの市民力」の中には「緑の創出に携わる専門家」として、社団法人千葉県造園緑化工事業協会の方々には託したい役割も含まれております。今後とも、松戸市の緑施策へのご支援とご協力をお願いいたします。



ドングリを育てて緑を増やし二酸化炭素CO2を吸収させる松戸市の環境事業「減CO2（げんこつ）どングり作戦」に松戸市内の協会の皆様にご協力いただいています。

第30回 緑の都市賞 緑の地域づくり部門において 都市緑化基金会長賞を受賞

市民・企業・行政等の協働による街山づくり



千葉市 都市局公園緑地部緑政課長 谷津 隆之

はじめに

社団法人千葉県造園緑化工事業協会の皆様には、日頃より、千葉市の公園緑地行政にご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。

このたび、市民（おゆみ野の森を育てる会）、企業（株新都市ライフ）、行政等（独）都市再生機構、千葉市の4者協働による取り組みが評価され、平成22年10月29日に開催された第30回「緑の都市賞」緑の地域づくり部門において都市緑化基金会長賞を受賞しました。

これは、地域の貴重な緑を守る市民参画型の活動と、それを支える行政、企業等の仕組みが高い評価を受け、51件の応募の中から選ばれたものです。

「おゆみ野の森」の概要

「おゆみ野の森」は、千葉市緑区に位置する面積約3.1haの市民緑地で、京成電鉄千原線学園前駅の駅前に位置し、平成19年4月に設置しました。この一帯（おゆみ野地区）は、都市再生機構が土地区画整理事業を実施した面積約605ha、計画人口約8万人の大規模住宅地（現在4万人が居住）で、「おゆみ野の森」の場所も元々は戸建住宅用地の計画でした。しかしながら、遺跡が発見されたことから計画は白紙となり、森そのものを保全していくため、市民主体による管理運営がなされることとなりました。



街山づくりの仕組み

本市では、里山に対し市街地内の樹林地を「街山^{まちやま}」と呼び、市民と協働でその保全・活用を行う街山づくりに力を入れています。街山づくりは、都市緑地法に基づく市民緑地制度の運用を本市独自のスタイルで行うもので、市が地権者と契約した樹林地を市民団体が維持管理する市民参加型の形をとっています。

おゆみ野の森の市民活動を支える仕組みも、土地を都市再生機構が提供し、千葉市が市民緑地として指定、さらに企業（株新都市ライフ）の支援を受け、市民団体が維持管理等を行うというものです。

おゆみ野の森の活動

平成19年4月15日にオープンすると同時に、市民により構成される維持管理団体「おゆみ野の森を育てる会」が組織され、行政企業等に支えられながら様々な活動を行ってきました。そして3年の助走期間を経て、平成22年4月からは名実ともに市民主体の活動としてスタートしています。

①良好な森の維持、保全、再生

○草刈隊：森の良好な環境を保つため草刈り、枝払い、枯木倒木の処理等、維持保全にかかる活動を定期的に行います。毎月1回、草刈大好きなお父さんたちの集団です。

クヌギ、コナラなど雑木の苗木の植栽など、森の再生にかかる活動も行い、野草類が数多く咲くようになりました。

○花植え隊：森の入口に菜の花やヒマワリ、コスモス、そばの花などの季節の花を咲かせて、訪れた人々を出迎えます。また野の花の美しさを楽しんでもらうため育成を行っています。

②森の利活用

○定例会：春秋の祭り、自然観察会や自然体験など皆で集まって様々な活動を行います。毎月1回、音楽会や自然観察、自然体験、スープ作り、ピザ作り、きのこ作り、など皆で楽しめるイベントを行います。

○冒険遊び：手作りのブランコやターザンロープなど、子供たちが自然の中で伸び伸びと遊べる空間づくりを行っています。

○森の時間：毎週1回平日の昼間に母親たちが集まり、こどもたちが森の中で楽しく安全に過ごせるように見守る活動を行っています。

○広報：樹名板や解説板の他に、各入口に森の利用案内やイベント情報など、利用者にはわかりやすいサインの設置を行っています。



親子で雑木の苗を移植



そばの種まき



森の音楽会



みんなで餅つき大会

おわりに

市民、行政、企業等の協働により進められてきたおゆみ野の森の活動が、地域におけるコミュニティ活動の核となり、地域全体にその活動が波及することによって、今後一層魅力あるまちづくりにつながっていくことを期待しています。

協会の皆様には、今後とも街山づくりをはじめとする千葉市の公園緑地行政にご理解、ご協力をお願いいたします。



『ひろげよう 育てよう みどりの都市』

全国大会

日時：平成22年10月29日（金）午後1時30分～午後4時30分
場所：日比谷公会堂
主催：社団法人 日本公園緑地協会
共催：財団法人 都市緑化基金
後援：国土交通省・独立行政法人 都市再生機構

開催趣旨

21世紀は「環境の世紀」とされ、地球温暖化に対する地球規模での対応が重要な課題になっており、低炭素社会への都市構造の転換、水・緑豊かで美しい都市生活空間等の形成への実現が強く求められており、安心・安全な都市の形成、歴史と文化に根ざした美しい地域づくり、参画協働社会への対応など良好な景観とみどり豊かな都市環境の形成がますます重要となっております。

そこで、広く全国各地から地方公共団体や緑化運動の担い手など、緑に携わる方々の参集を得て、都市の緑の保全・創出に対する意識の高揚を図り、緑豊かな美しいまちづくりを全国各地に展開するため「ひろげよう 育てよう みどりの都市」全国大会を開催しました。

内容

大会は、式典の部と講演・報告の部で実施されました。式典の部では丸田頼一（社）日本公園緑地協会会長が主催者挨拶、馬淵澄夫国土交通大臣（小泉俊明大臣政務官代読）の来賓挨拶がありました。

その後、「平成22年度都市緑化及び都市公園保全美化

運動功労者」「第30回緑の都市賞入選者」の表彰が行われました。又、併せて「第26回都市公園コンクール入選者」の表彰が行われました。本年は当協会会員である、株式会社新松戸造園が広尾防災公園整備工事において国土交通省都市・地域整備局長賞を造園施工部門で受賞されました。（市川市との共同受賞）

講演・報告の部では「公園でウォーキングを楽しむ」

をテーマにウォーキングドクターのデューク更家氏が講演しました。その後、「第26回都市公園コンクール」国土交通大臣賞を受賞した新宿区の中山区長が「玉川



表彰状を手に市川市（右）と新松戸造園（左）

上水・内藤新宿分水散歩道の整備について」と題しての報告、続いて「第30回緑の都市賞」内閣総理大臣賞を受賞した川崎市の砂田副市長が「多様な緑が市民をつなぐ地球環境都市かわさきへ」と題しての報告がなされ、盛会の内に大会を終了しました。



マルチングマットシリーズ
植樹ニューマット
忌避材付根茎調整剤

雑草をシャットアウト！！
植樹防草シート
難燃性防草シート 高密度ポリエチレン

ルートスツパーVer. 2 **プロフィット、ピスタパン**

緑化資材の
総合メーカー **谷口産業株式会社**
本社 〒597-0094 大阪府貝塚市二色南町 8-3
TEL(072)432-1828 FAX(072)432-1838
URL <http://www.ts37.co.jp>

景観整備機構の活動に対し感謝状

協会が景観整備機構の活動として昨年度から取り組んでいる大網白里町「季美の森」における街路樹剪定の方法の企画や提言、見本剪定などを実施したことに対し、平成22年10月1日、町長から感謝状を頂きました。

景観整備機構は、平成16年に施行された景観法に基づき、良好な景観形成に寄与するため、一定の能力を有する公益法人やNPOなどを自治体が指定するものです。

本協会は、昨年11月に千葉県知事から、県建築士会に続き県内で2番目の指定を受けており、緑豊かな景観形成に向け、造園の技術・技能を活かした活動を行うこととしています。

季美の森には、街路樹としてメタセコイヤやケヤキ等が植栽されていますが、その生長に伴い日当たりや落ち葉、宅地内への根の侵入などのクレームが発生する一方、地域のシンボルでもある緑豊かで癒しのある街並みに憧れ入居した人達も多く、景観の維持を始め、温暖化対策や防災機能を果たす街路樹を切らないで欲しいという声もありました。

実際、メタセコイヤは柔らかな緑が洋風の住宅にマッチし、一見、カナダの街並みを連想させる景観を作り出しています。しかし、樹高が12～15mにもなり、「根上がり」による舗装のひび割れが随所に見られ、あと5年ほどで植栽枠からはみ出ることも懸念されます。

また、以前に実施したケヤキの剪定では、樹形が乱れ、住民からの苦情もあったとのことでした。

このため、町建設課では、「緑あふれた景観を維持しつつ樹形を小さくできないか」を景観整備機構の指定を受けている協会に相談し、その後、度重なる打合せや現地確認を行うとともに、7月に1本のメタセコイヤを見本剪定し、これを基準に宅地まで根が侵入し、「根切り」を行った約30本のメタセコイヤの剪定を行いました。

ケヤキについては、落葉後、見本剪定を行う予定です。

我々造園業は、建設業28業種のうち唯一、植物を通じて快適な暮らしづくりに貢献する業界です。

この度の感謝状の贈呈は身に余る光栄であり、今後とも、緑豊かな景観形成に向け、我々の持つ技術・技能を最大限発揮し、県民の皆さんの期待に応えていきたいと思っております。



右から内田副町長、菰田建設課長



上：剪定作業 右：完成





ウグイスカグラ

樹木医 富塚 武邦



ウォーキングの楽しみの一つは、道すがら見られるいろいろな植物の芽立ち、開花、結実、色づきの姿を、いち早く見つけることです。ウグイスカグラは、まだウグイスの鳴き声あまり上手でない時期に、淡紅色～紅色の細い漏斗状で、先端が5裂の小花を咲かせます。長さ1.5～2cm、径1cm弱ほどで、よく見ますと意外に華やかです。

主な

講習科目

- 技能講習
 - 高所作業車の運転
 - 車両系建設機械の運転
(油圧ショベル、ブルドーザ)
 - 玉掛け、小型移動式クレーンの運転
 - フォークリフトの運転
- 特別教育・安全衛生教育
 - チェンソーによる伐木
 - 刈払機の取扱い
 - 職長・安全責任者教育

★詳しくは、資料請求下さい



あ・な・た・も **建設機械、高所作業車等の資格を取りませんか!**

職場の安全衛生活動をお手伝いします

千葉労働局長登録教習機関

キャタピラー教習所

東関東教習センター

〒277-0872 千葉県柏市十倉二313 ホームページ <http://cot.catjts.com/>

TEL 04-7133-2126 FAX 04-7133-2344

北海道南部、本州、四国、九州の山野に普通に見られる樹高1.5~3mの落葉低木で、根元から良く分枝し叢状を呈します。葉は対生で広楕円形または倒卵形、長さ3~5cm、幅2~3cmですが、生育の良い新枝の葉は長さ6~8cmと大形です。

学名はロニセラ・グラシリペス。属名ロニセラは16世紀のドイツの数学者で植物収集家でもあった、ロニツェルの名前をラテン語化したロニセラスに因み、種小名グラシリペスは細長い柄（脚）を表します。

鳥や動物の名前の付いた植物はいくつもありますが、このウグイスカグラの語源は、ウグイスが鳴き始めるころに開花するとの説、ウグイスがこの実を喜んでついでむ様子が神楽を舞うようだからとの説、早春、春告げ鳥のウグイスが、本樹の木陰に飛んできて枝から枝へ飛び跳ねる姿を古式ゆかしい岩戸神楽を舞っていると見立てた命名説、ウグイスなどの小鳥をもち竿や網で捕まえる場所を狩り座と呼び、かりぎ⇒かくら⇒かぐら、へと転訛したとの説、小枝が多いためウグイスが隠れるのに都合の良い藪をつくる、ウグイス隠れが変化したとの説などいろいろあります。全国に分布していますので、昔から親しまれていたのでしょうか、ウグイスノキ、ウグイスボク、ヤマグミ、アカマメイチゴ、チョウチンバナ、チョウチングミなどの別名も沢山あります。

派手やかさはありませんが、春の可憐な淡紅色の花と透き通るような赤い果実、幹の風情・色合いを賞して、庭園樹、茶花、盆栽等に使われています。そのため茶道や華道のお師匠さんのお宅にも良く植

えられています。

果実は液果で5~6月に紅熟し、ほんのりと甘く食べられます。長さ約1cmほどの広楕円形で、多くの小禽も楽しみにしているのではと思えるような美しさです。但し盆栽にした場合、花はよく付きますが結実は難しいようです。

同じ仲間のヒョウタンボクも熟すとひょうたん型、もしくは一つ実の赤く美しい果実をつけますが、こちらは有毒です。ウグイスカグラの実のように透き通って見えず、枝もウグイスカグラは中が詰まっていますが、ヒョウタンボクは中空ですので見分けがつかず。

クロミノウグイスカグラは名前の通り果実の色が黒紫色で、本州北部、北海道、サハリン、千島、カムチャッカに分布しています。北海道では特産物としてアイヌ語のハシカップ（枝の上に沢山なるもの）に由来するハスカップの名称で、栽培化が進み、菓子やジャムに加工され販売されています。

ウグイスカグラは耐寒性や耐陰性があり、土質も選ばず栽培は容易ですが、植え付け後、数年を経過した枝は老化により萌芽力が弱くなるため、枝の更新を念頭に剪定を行い、形の良い株の維持に努めます。繁殖は挿し木、株分け、実生によります。盆栽には取り木により、風情に富む小品が出来ます。

最近、東金のウォーキングコース沿いでは数が減ったように思われます。目立つ所にあった樹高1mほどの株は、丁度花時に掘りとられていました。簡単に殖やすことができますので、是非挑戦されて雅趣に富む花と、素敵な果実を愛でてください。

資格取得講習のごあんない

- 移動式クレーン運転実技講習(国家試験実技免除)
- 車両系建設機械(整地・運搬・積込み及び掘削用)運転技能講習
- 解体用機械(ブレーカ)運転技能講習
- 不整地運搬車運転技能講習
- 小型移動式クレーン運転技能講習
- 高所作業車運転技能講習
- 玉掛技能講習
- フォークリフト運転技能講習
- 特別教育
(ローラー・高所作業車・小型車両系・自由研削といし・低圧電気取扱)
- 安全衛生教育
(刈払機・職長・安全衛生責任者)
- 安全管理者選任時研修



高所作業車運転技能講習風景

千葉労働局長
登録教習機関



住友建機販売(株) 千葉技術研修所

〒263-0001 千葉県千葉市稲毛区長沼原町731-1 TEL (043) 420-1549 FAX (043) 420-1586
ホームページ <http://www.sumitomokenki.co.jp/>

平成22年度 関東甲信造園建設業協会 協議会の開催

期日／平成22年10月15日(金) 場所／神奈川県横浜市



関東甲信造園建設業協会協議会は、毎年、関東甲信地域の9都県の協会の持ち回りにより開催されています。
本年度は神奈川県の主催により横浜市で開催され、本県からは、池谷晃会長、中村伸雄副会長、櫻田俊雄総務委員長、川名昭専務が出席しました。
開会にあたり、開催地・神奈川県造園建設業協会岸本和義会長から歓迎の挨拶があり、引き続き、各都県からの提案議題に基づき、活発な意見・情報交換が行われました。

協議議題1 協会活動の活性化に向け、提案のあった5議題について、提案趣旨の説明と、各県からの回答等に基づき意見交換を行いました。

1. 会員の数の動向について（栃木県）

●提案趣旨

公共事業の減少により会員企業の経営が厳しくなっている。協会脱会の理由として、会費が負担になっていることも推測されるため、入会金及び会費の見直しを行おうとしているが、各県の状況を教示願いたい。

●回答

	会員数		入会金 (万円)	年会費（万円）		備考
	前年6月	本年7月		均等割	事業実績割等	
栃木県	101	97	50	9.5	公共工事（0～360）等	造園学校運営費5万円
茨城県	125	122	10	14.0		
群馬県	61	59	10	8.5	6区分	
東京都	84	84	10	26.0～18.0		
長野県	44	35	10	11.0	工事高に対応（5～42）	
埼玉県	118	116	30	12.0	工事高に対応（2～27）	
千葉県	151	148	20	13.0	3ランク（1～5）	
山梨県	35	34	230	12.0	10～100	入会金は会館積立金を含む
神奈川県	607	604	5	3.6		

2. 関東甲信造園建設業協会の連携強化と情報交換について（群馬県・東京都）

●提案趣旨

- ・公益法人改革に伴い、業界の一層の集結が必要なため、更なる連携強化を願いたい。（群馬県）
- ・①業界の課題を十分議論し実行に移すため事務レベル調整会議の設置（東京都）
- ②各県主催の研修会などの情報交換を願いたい。（東京都）

●回答

	回答要旨	
	群馬県へ	東京都へ
茨城県	賛同するが、HPの活用も検討する必要有り	実施すべき。（場所は東京都で）埼玉、群馬、栃木、茨城の4県で情報交換会を実施
栃木県	主旨には賛同する。	同左
群馬県	－	連携強化と情報の共有化が必要
東京都	連携強化と情報の共有化が必要	－
長野県	趣旨には賛成。会員は日造協との重複があり、県造協単位での日造協加入などを検討すべき。	賛成
埼玉県	連携強化と情報の共有化が重要	その都度事務レベルの会議を開催、研修会等の呼びかけはありがたい。
千葉県	課題解決や要望活動に一層の連携が必要	試行的に事務レベルの会議を開催
山梨県	提案に賛成	事務レベルの会議を設置
神奈川県	主旨は賛成、メールによる情報交換	事務レベルの会議は賛成だが、一度会議を行い各県の合意のもとで開催

3. 後継者（若手技術者）の育成について（埼玉県）

●提案趣旨

造園建設業の将来を担う若手後継者の育成は、業界の最重要課題であるが、各社の自助努力だけでは困難である。また、新規の求人も減少する一方で、若者がきつい現場を忌避する傾向もある中で、以下について教示願いたい。

- ①後継者や若手技術者の育成事例
- ②青年部等による若手主導の事業や研修の実施状況
- ③農業高校、高等技専校からの実習生の受け入れ状況

●回 答

	回答要旨
茨城県	①県造園技能士会や高校と連携し、技能五輪出場選手の指導 ②「未来部会」を設置し後継者の意見交換や視察研修を実施 ③—
栃木県	①毎年、視察研修を企画、本年は中国の緑化事業や植木市場を視察 ②— ③農業高校と連携、毎年2～3名の実習生の受け入れ、その中から社員として採用の事例もある
群馬県	①群馬大工学部との連携や新技術の視察研修 ②平成2年に青年部を設立し、ITや指定管理者に積極的に取り組んでいる ③県内の実業高校から実習生の受け入れ
東京都	①造園基礎研修の実施 ②— ③高校からインターンシップの受け入れ、中学生の職場体験
長野県	①— ②— ③会員企業が独自に受け入れ
千葉県	①②青年部の設立を準備中 ③高校からの要請によりインターンシップの受け入れ、CCI事業により造園工事現場における実習
山梨県	①県の景観アドバイザー、日造協の地域リーダーとして推薦 ②協同組合の青年部に助成 ③—
神奈川県	①伝統技術継承のため平成21年から作庭塾を立ち上げている ②21支部に青年部を組織、平成15年に県域青年部を設置 小学生を対象にドングリの苗の育成を指導 ③職業技術高校への講師の派遣

4. 行政機関への要望・陳情の実態について（長野県）

●提案趣旨

要望活動がマンネリ化してきている。要望方法など各県の対応を教示願いたい。

●回 答

	回答要旨			
	要望方法	要望の効果等	県との会議	工夫等
長野県の例	関係部局長を廻り要望	街路樹剪定士の活用	建設部関係課との意見交換	緑の団体の結束
茨城県	関係課長を廻り要望	特になし	同左	会員の名簿
栃木県	関係部局長を廻り要望	防草シート工法の採用	意見交換・勉強会	施工例(写真・図)の添付
群馬県	知事・議長	認識の向上	懇談会	造園連支部、造園師組合との連携
東京都	都議会各派に要望書提出	街路樹維持管理費の増額、街路樹剪定士の要件化(一部)	特になし	議員との連携
埼玉県	関係部局長を廻り要望	造園工種での総合評価方式の実施	特になし	具体的な内容提示
千葉県	関係部局長を廻り要望	造園資格のモデル的活用の検討	県土・農水・企業庁との意見交換会	社会貢献活動への参加による認知度向上
山梨県	関係部局長を廻り要望	特になし	知事と建産連の交換会	特になし
神奈川県	関係部局長を廻り要望	街路樹剪定士の活用 最低制限価格の上限引き上げ	意見交換会	議員連盟への働きかけ

5. 緑化行政の推進における県議会や市民・関係団体等との連携・協働について（千葉県）

●提案趣旨

行政への要望等が増加する中で、議会の理解と協力が不可欠であることから、議員連盟を立ち上げるべく準備中。また緑化推進や業界の理解度向上には市民団体等との協働も重要である。

そこで、①議会との連携方法 ②議会と連携した活動事例 ③市民団体との活動事例について、教示願いたい。

●回 答

	回答要旨		
	①議会との連携方法	②議会と連携した活動事例	③市民団体との活動事例
茨城県	顧問：衆議院議員1名、県議2名 名誉顧問：知事	特になし	同左
栃木県	顧問：5名を委嘱	指定管理者制度についての要望	日光市足尾における植樹活動(9年目)
群馬県	顧問：3名の県議会議員	要望活動への参加	「ぐんま緑の街並み講演会」の開催
東京都	議員連盟があったが休眠中	都の予算に対する要望	樹木手入れ講習会、海の森公園植樹イベントへの協力、日比谷公園ガーデンニングショーへの参加
長野県	顧問：国会議員1名 県議2名	県議会での質問 校庭の芝生化の必要性 校庭芝生化の請願→採択	特になし
埼玉県	特になし	同左	みどりの団体合同賀詞交換会
山梨県	現在は置いていない	要望活動	樹木の寄贈、環境美化運動における花の植栽
神奈川県	H9年県みどり議員連盟を組織化	日造協支部と連携し要望活動、屋上庭園や街路樹剪定モデル等の視察、予算の勉強会	全国植樹祭カウントダウンスタート協賛、講師派遣。

協議議題2

この他に、4県から以下の提案がありました。
 墜落防止措置等安全教育の実施状況について（茨城県）
 技能五輪の協力体制について（群馬県）
 造園建設業の理解を得るための工法・啓発活動等の取り組みについて（山梨県）
 造園CPDの取り組みについて（神奈川県）

従来、本協議会は情報交換を主たる内容として話し合いを行ってきましたが、今後、事前に連絡調整会議等を開催し、テーマの絞り込みを始め、各都県の連携強化や情報交換の促進を図ることが決議されました。

視 察

会議に先立ち、横浜市本牧にある三溪園を視察しました。

三溪園は、明治の実業家で生糸貿易により財をなし、造園や茶道にも造詣ぞうけいの深い原三溪はらさんけいによりつくられた名園です。

53,000坪の園内には、京都や鎌倉から移築された10棟の重要文化財を含む17棟の歴史的価値ある建築物が四季折々の自然景観の中に巧みに配置されています。

第2次世界大戦により壊滅的な被害を受けましたが、戦後、原家から（財）三溪園保勝会へ移管されたのを契機に修復され、現在では大都市横浜の中心に位置するとは思えない緑と静寂の中で、多くの市民や観光客に親しまれる名勝となっています。



名勝三溪園

千葉県関係部局 との意見交換会 開催される



意見交換会は、我々造園業界の声を、県の幹部の皆さんへ直接届ける場として、毎年開催しています。

本年度は、平成22年10月20日（水）、千葉市中央区の千葉県自治会館において、午前中に農林水産部、午後からは総務部、県土整備部、企業庁からおいで頂き、会員から寄せられた意見や要望を参考に、主要課題として「入札」と「都市緑化」の2点を始め、関係各課に関連する個別課題について、意見や情報の交換を行いました。

午前と午後の会議の冒頭、平山利夫農林水産部次長、田中亨県土整備部次長から、海岸林の復元、防災協定、千葉国体への協賛などの取り組みについてのお礼の言葉を頂きました。

会議の概要は以下のとおりです。

I 主題課題（各部局共通）

1 入札・契約関連

(1) 業務委託におけるダンピング対策

ア 低入札価格調査制度について

(ア) 低入札価格調査の状況

- ・低入札価格調査制度の適用対象業務は、各部局の機種等選定・委託事業指名業者選定審査会に諮って、決定している。
- ・県土整備部の低入札対象は、
21年度 24件中2件（平均落札率 79%）
22年度 14件中1件（ 〃 84%）
で、件数はそれほどではないと思っている。

(イ) 低入札価格調査の基準

低入札価格調査については19年10月から制度を設けている。この時点から国の基準は60%で、県も国にならっており、現在も変わっていない。

国の動向を注視するとともに、他県の状況も調査しているところであり、それらを参考にしていきたい。

イ 最低制限価格の設定について

都道府県のダンピング対策について調査したところ、低入札価格調査制度のみを導入、最低制限価格制度のみを導入、両方導入、どちらも導入していないとさまざまな状況であった。著しい低価格での入札については適正な履行の確保ができないおそれある。

積極的に低入札価格調査制度の活用を各部に周知していく。その中で、最低制限価格制度が必要かどうか考えていきたい。

ウ 発注形態について

- ・国交省の「管理工事」の植栽についてはよく把握していないが、工事か委託かについては内容によると

考える。

- ・国交省は、草刈り、剪定、に加えてネットフェンス、搬入路の整備の工事的な要素を含めて複合的に発注している。草刈り、剪定等維持管理業務は建設業とは扱っていない。

建設業法は工事を対象としているため、維持管理的なものは工事の定義からはずれ、法の壁がある。

県としては、維持管理業務に合併した発注は課題に思うので、この件に関して積極的に提案を願いたい。

(2) 希望職種分類表について

委託業務はあくまで業種を希望するもので、システム上5つまでしか登録できない。

指名競争入札において、指名するときには参考として業種分類の中分類を考慮することはある。

一般競争入札では、通常格付けは求めるが、希望業種の指定ができないようになっている。大分類が一緒だから他の異業種が入札に入ってくるというのは、大分類を変えても変わらない。

また、必要に応じ入札参加資格として、同種業務の履行実績を求めることにより、造園の知識技能などを持たない事業者の入札参加は排除されると考える。

(3) 業務委託における品質確保（造園資格の活用）について

- ・技術資格について、仕様書等に専門的な資格を明記するかどうかは、各発注機関で個別に判断するものと考えている。

- ・県立公園の管理に専門資格を加える事に関して検討していきたい。

直接管理している公園は各事務所が発注しており、事務所の意向もあるので、協議しながら考えたい。

- ・県の下水道施設には4カ所の処理場とポンプ場14カ所

があり、周辺環境の整備として植栽地がある。大きい施設なので、ゾーンに分けて樹木剪定、除草など緑地管理業務を14件発注、うち10件を一般競争で契約した。植栽地等は地域住民に好印象を与えるので目につく所などから景観への配慮もあり、専門資格を発注の要件に加えることを検討したい。

- ・幕張メッセモールは庭園風の緑地であるため、専門知識が必要なので専門資格の活用を検討したい。

2 地球温暖化対策としての都市緑化の推進について

- ・都市の緑は大事であり、防災上、環境上の対策としても重要と認識している。

都市公園を整備する他に、緑地保全地区等に指定する方法と、住民が主体となり緑化に関する協定を締結する方法とがある。どちらも市町村が主体の町づくりの中で行われるが、県としても必要な都市公園整備の促進に努めていきたい。

幼稚園、学校の芝生化は教育庁の管轄になる。

公共の建築物については、それぞれ管理者が会する会議を利用し、施設の改修時には屋上、壁面緑化の導入について、技術・経済的問題も含め、検討してもらうよう要望した。

市町村には、屋上緑化を積極的に取り組むように推進会議を開催している。

- ・都市周辺も含めた里山の整備については、多様な主体の参加を推進しており、現在、里山条例に基づく所有者と里山活動団体間の協定認定は114協定、面積は160ヘクタールで、1協定当たり平均で1ヘクタールの取り組みがされている状況であるが、まだまだ少ない。貴協会も海岸県有林の再生の取り組みにご協力いただいているが、今後とも積極的に参加していただきたい。

II 個別課題

1 農林水産部関連

(1) 海岸防災林造成工事における業者指名について

海岸防災林造成工事で植栽を主にした工事を指名競争入札で執行する場合については、工事種別を造園とし、県の入札参加資格者名簿に造園として搭載されている登録業者のなかから、地域性等を総合的に勘案して選定している。

(2) 樹木の病害虫防除における農薬使用について

「農薬取締法」において使用方法等が決められており、ラベルに表示されている事項の遵守が必要で、造園業に携わる皆さんには確実に実行してもらいたい。

また、19年1月には住民の健康被害を防止する目的で、

農水省・環境省連名で「住宅地等の農薬使用について」が通知されたのを受けて、県農林水産部長名で19年2月5日付けで通知を出している。

さらに、今年5月環境省発行「公園街路樹等病虫害雑草管理マニュアル」では、なるべく農薬を使用しない防除、飛散防止に最大限留意、農薬の現地混合を行わない等細かな配慮が要求されているのでよろしく願いたい。

(※同「マニュアル」は全協会員に8月31日配布してあります。活用願います。)

(3) 海岸林や森林等における病害虫対策(マツノザイセンチュウ対策を含む)について

海岸の保安林等における松くい虫被害対策としては、森林としての機能維持のため、薬剤散布及び被害木の伐倒・破碎処理により運び屋であるマツノマダラカミキリの駆除を実施している。

薬剤防除の方法としては、広範囲の松林に適期にむらなく散布するため、従来は空中散布を実施してきたが、ポジティブリスト制施行や有機リン系薬剤の健康被害への懸念等を総合的に判断し、平成20年度からネオニコチノイド系薬剤の地上散布に移行している。

ただ、林内に進入しての散布が困難な場所もあるため、今年から無人ヘリコプターによる散布効果試験も行っている。散布時期については、県農林総合研究センター森林研究所で害虫発生時期の予察を行い、発生初期からピーク時まで散布を行っている。

また、被害が進行して疎林化した区域については、抵抗性マツや広葉樹を植栽して森林の再生を図っている。

松くい虫被害対策としては、薬剤散布、被害木の駆除を徹底することが現状では最も効果的な防除手法だと考えている。菌根菌などの活用は、マツの樹勢を高める耐病性の向上の点で注目しているが、特に松くい虫被害が激しい森林での防除の決定打としては難しいと考えている。

(4) 海岸林の篠竹対策について

松枯れとともに篠竹の繁茂は認識しているが、篠竹の駆除に特化した取り組みは行っていないが、道路や園路など住民に身近で景観に配慮すべき箇所については保安林の維持管理事業により毎年刈払を行っている。

ただし、松くい虫の被害跡地にも篠竹は進入しており、マツ林の植栽に努めているが、松枯れの植栽の対策が追いつかないのが現状である。

また、松等の立木が消失し篠竹が生育している箇所は、篠竹が風や潮を防ぐ機能を代替していることから残置している箇所もある。

(5) 建設業と農業の連携について

企業の農業参入には、農地を借りて生産販売を行う

方法、農作業の受託組織として参入する方法等がある。

県内には、食品関連の企業や量販店が地域の農家と連携して参入しているケースもあるが、参入には、しっかりとした販売戦略が必要である。

作業受託による参入の事例としては、建設業者が飼料用稲の収穫機械を導入し、稲のホールクroppサイレージ生産の作業受託を本年から開始したものがある。

LEDを活用した植物工場なども新聞等で目にするが、採算性の確保や、生産物を販売ルートにどう乗せるかなど課題も多いと思われる。

(6) 耕作放棄地対策について

耕作放棄地を借りる場合の扱いは、他の一般的な農地と変わらない。

解消作業を請け負う場合、発注者側の条件が明確でないこともあるので、契約形態に注意する必要がある。

農業委員会や各地区の耕作放棄地対策協議会に相談してほしい。

2 県土整備部（一部総務部）関連

(1) 業務委託における設計と実測の差異について

各現場で常におこりうる課題であり、一概にどうなるとはいえないが、現場の状況を発注者とよく相談して欲しい。

(2) 提出書類の簡素化について

確認の写真は、委託の規模によって100m毎か、200m毎かは施工事前に発注者と協議してほしい。書類作成マニュアルを作ったので参考にしてほしい。

(3) 共通仮設費の積算について

発注時の参考として今年4月から、交通誘導員が何名必要か、閲覧用金抜き設計書に明記されているので参考にして欲しい。

(4) 受注資格における営業所等の取扱いについて

一般的には、県内事業者の育成の観点から、履行可能な業務については県内本店を地域要件として設定。場合によっては、管内本店を要件としている事務所もある。

このように県内事業者の受注機会の確保に一定の配慮を行っている。

(5) 緑地管理予算の確保について

県で管理する道路は3200キロ。厳しい財政状況の中で維持管理をおこなっている。

除草は、カーブや通行に支障をきたすなどの箇所を優先。本来は伸びた段階で実施すべきだが、必要な箇所は年2回、最低年1回実施している。

緑地管理は、基本的には道路にかぶさった所や毛虫等の害虫発生した箇所などの剪定を実施している。県民からの苦情が多いため、県民サービス向上や安全確保

などを財政当局に訴えながら予算確保に努めたい。

(6) 緑地帯等における除草剤の使用について

・平成2年、県立都市公園における農薬使用基本方針を策定し、除草剤についても使用を制限してきている。環境・生態系の観点から協力を願いたい。

・基本方針に準じ、道路も農薬の使用を控えている。沿道には水田・畑・住宅が接しており除草剤の使用は慎重に対応していく。近年、無公害の除草剤の開発などもあり、近隣の県市の状況にも注視していきたい。

除草剤を使用せずに、草が生えにくいような道路施設の検討も進めていきたい。

(7) 建設業のイメージアップのための情報発信について

建設業界のイメージアップを図るためにも大切な課題である。

CCIちば事業などで、建設業界の皆さんも社会貢献活動をしている。幕張メッセにおいて茂原樟陽高校の生徒を対象に、造園の魅力をアピールするための活動があったのでプレスに提供した。

一般紙は専門紙よりも広報力があるので、プレリリースには今後も積極的に力を入れていく。

CCIちばのメールマガジン、看板、横断幕の活用にご協力を願いたい。

3 企業庁関連

(1) 保有地の維持管理事業の継承について

行政改革の一環の中で、土地造成事業については、基盤整備を24年末に概成することになっている。この間の緑地管理業務は継続される。

工水事業は継続、千葉ニュータウン事業、成田空港関連事業についても時間はかかるが収束の予定。

次の組織の骨格や会計組織について検討中と聞か、緑地管理についても、将来管理者に引き継ぐか、売却しない限り企業庁が実施することになる。次の組織づくりは24年度に開始されるが、その中でどのようにするか議論される。

(2) ちばNT北環状線の中央分離帯の緑化について

北環状線は、都市再生機構が特定公共事業として整備しており、整備区間のうち464号～白井停車場までを、今年度、将来管理者に引き継ぎを予定している。

中央分離帯の件については、昨年、将来管理者へ引継の現地立ち会いの中で、今後、コンクリートで覆うようにという指導があった。

他の区間についても将来管理者の指導のもと整備を進めていく。



やまと花ごよみ 2010

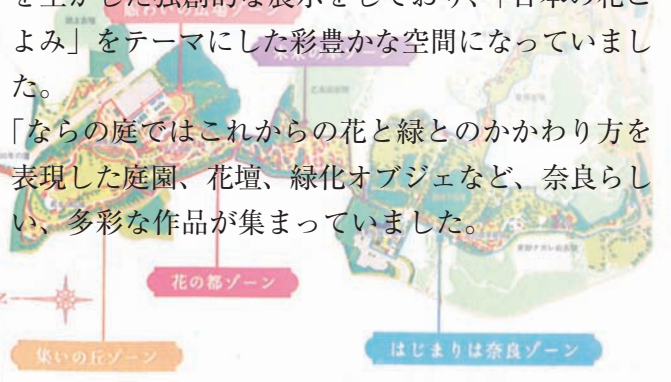
第27回全国都市緑化ならフェアが、平成22年9月18日～11月14日の58日間平城遷都1300年祭で賑わう奈良で行われました。(社)日本造園建設業協会千葉県支部及び(社)千葉県造園緑化工事業協会の広報委員会で視察研修に行きましてので、ここにご報告致します。

『未来へつなぐ「花のもてなし」～やまと青垣からの贈り物～』をメインテーマに、メイン会場である馬見丘陵公園をはじめ、テーマ会場の平城宮跡会場、藤原宮跡会場、国営飛鳥歴史公園会場、また、サテライト会場の、えきまえ会場、つどい・まちなか会場、歴史まちなみ会場で開催されました。

例年ですと、春に開かれる緑化フェアですが、今年の開催地である奈良県は、ダリアの球根生産量が日本一のため、ダリアの開花時期にあたるこの季節の開催になりました。期間中は、約200品種、5,000株のダリアがみごとに咲き誇り、しかも、入場料は無料でした。

メイン会場である馬見丘陵公園は、甲子園球場の約16個分の広さ(約65ヘクタール)に、池と古墳が点在する自然環境豊かな都市公園です。そこは、5つのゾーンにわかれており、花と緑を観ながら楽しく過ごせる空間が広がっています。緑道北口から入り、奈良の歴史1300年を再発見しながら会場へ向かう「1300年の道」を抜け「集いの丘ゾーン」へ入ります。ここは、このフェア会場の中で、最も小高い場所にあり、奈良県、大阪府の府県境の金剛山地から生駒山地までの大和青垣を背景に花壇を添え、奈良のおおらかな景色を展開したゾーンになっています。

「フラワーパレット」(政令指定都市出展花壇)「ならの庭」(企業・団体等出展庭園)鳥が羽を広げたような「花なら広場」(体験催事:ステージイベント)があり、我が千葉県では、千葉市が市の花であるオオガハスをあしらった花壇を展示し、目を引いていました。他市の花壇もそれぞれ県や市の持ち味を生かした独創的な展示をしており、「日本の花ごよみ」をテーマにした彩豊かな空間になっていました。「ならの庭ではこれからの花と緑とのかかわり方を表現した庭園、花壇、緑化オブジェなど、奈良らしい、多彩な作品が集まっていました。



千葉市ゆるキャラ「ちはなちゃん」



オオガハスをイメージした花壇

次に向かったのは「花の都ゾーン」です。そこは、ダリアをはじめ、奈良を代表する花による花風景が展開されていました。「花の情景」（都道府県出展庭園）、「懐かしの庭」（企業・団体等出展庭園）、屋外主催展示の「ダリア園」と「馬見花苑」があります。波を意匠化した「青海波」をモチーフに、かつて遣唐使が渡った広大な海原を、色彩豊かな花の波で表現した「馬見花苑」は、フェア会場でもっとも大きな花壇です。青海波は、埴輪にも描かれている古来からの美しい幾何学模様で、寛永通宝や舞楽の装束などにもその模様を見ることができるそうです。



馬見花苑



ダリア園



せんとくん

会場内を歩いていると、甘い香りが漂ってきました。ふと周りを見回すと、黒紫色のコスモスを見つけました。近寄ってみると、チョコレートのような香りがして、思わず食べてしまいそうになりました。この花は、チョコレートコスモスといい、名前の通りチョコレートのような香りがするのが特徴です。メキシコが原産地で、近年では、交配種の「ストロベリーチョコレート」「ワインチョコ」という新種も増え、人気が出てきたようです。少女漫画のもとになった花でもあります。

いつになくたくさん歩いたので、ここで「賑わいの広場ゾーン」でしばしの休憩。

ここでは、「花や緑との出会いと再発見」をコンセプトに、花や緑の情報を発信するほか、会場のご案内や飲食、物販など様々なサービスを提供しています。

奈良の銘品「柿の葉寿司」や「奈良漬け」、「せんとくんグッズ」などが取り揃えられています。ダリアソフトクリームも目を引いていました。



ダリアとチョコレートコスモス



チョコレートコスモス

そして、次は「未来の華ゾーン」へ、入っていきます。

花と緑がもつ魅力を引き出した花風景と「花と緑のある生活」を提案するゾーンになっています。「暮らしの辻」（企業・団体等出展庭園）、暮らしの中の様々なシーンで使える緑化事例を紹介しています。花の新品種情報を提供する「花の競園」（植物単体展示）、種苗会社や花卉園芸企業などから自慢の品種や、昨今注目を集める植物など多種多様な花卉で彩られた華やかな50区画の花壇があります。会期中は3期に分けて展示するとのことでした。

最後に向かったのは「はじめは奈良ゾーン」です。万葉の歌の題材ともなっている「森」「野・野辺」「水辺」といった景色と植物で構成されている奈良らしい風景を創出するゾーンになっています。「花人の庭」（県民出展花壇）、花と緑の愛好者たちや、グループが材料の手配から製作までを行った多様な作品が展示されていました。「トライアルガーデン」

（学校出展花壇）地元広陵町、河合町の児童、生徒が図案の作成から草花の植え付けまでを行った多彩な花による夢いっぱいの模様花壇です。また、「花人アートギャラリー」（屋内展示）個人の方々による庭園、花壇、緑化作品など自由な発想を活かした個性的な作品が会場を彩っていました。

翌日は、平城京と東大寺を巡り、悠久の歴史を感じながら鹿と戯れ、ひさしぶりに石畳をたっぷり歩いた膝の痛みとともに帰京の途につきました。

今回の視察旅行で、一番感じた事は、去年のあの暑さの中でのメンテナンスの大変さです。さぞご苦労なさったと思い本当に頭が下がります。

最後になりますが、会場の案内をしてくださった（社）日本造園建設業協会奈良県支部の皆様、また、ご協力いただいた多数の方々に感謝いたします。ありがとうございました。

（蓬田）



平城宮跡会場



第一次大極殿院



東大寺大仏殿



東大寺大仏

植木生産者と連携した造園のPR

千葉県植木生産組合連合会（以下：植木連）と協会は生産とユーザーという相互依存の関係にあることから、これまでも、総会への相互出席を始め、植木連の主催する共進会の審査への協力と造園協会長賞を贈呈してきました。

また、県の推進する銘木100選の選定審査への協力等を行いました。



これらを踏まえ、平成22年10月29～31日の3日間、第38回千葉県植木共進会と連動し、東金市田間の東金市緑花木センターにおいて、一般消費者の皆さんに植木や造園のPRを行いました。

具体的には、垣根づくり教室として竹の結び方の実習、植木や造園相談コーナー、ミニ和風庭園による石組みの意味や由来の解説、クリスマスホーリーなど県産花木苗のプレゼントなどを行いました。

30日は台風の接近によりあいにくの天候になり来客者は少数でしたが、植木や造園に対する需要が減少傾向の中、で植木生産者の皆さんと我々造園業界が連携したこのようなイベントは有意義であったと思います。

【和風庭園や垣根づくり】



なお、28日の共進会の審査には、協会から平川進技術委員長、造園建設業協同組合から伊藤清治副理事長が出席、寒さと降雨の中審査を行い、協会長賞にエメラルド、理事長賞に紅アセビを選定しました。



植木共進会開会式



造園協会長賞



協同組合理事長賞

委員会報告

●総務委員会

委員長 櫻田 俊雄

今年度の委員会の主な活動をご報告いたします。

1、入札制度に関する活動

これは昨年度より取り組んで参りました入札制度の改正という最も重要な活動目標であります。

現在の入札制度のもとで問題となっております過剰ともいえる低価格での競争に対し、その一因となっている異業種からの参入、参加資格の大幅な緩和等の見直しを県当局に要望してまいりました。

今年度は昨年に引き続き、データの収集、分析を委員会で行い、その内容を理事会において検討し、10月20日に行われた県三部局との意見交換会において要望いたしました。

その結果、一部の入札案件の参加資格に専門技術者の配置、低価格入札の調査制度の再検討など昨年に比べ、若干の成果を見ることができました。

今後は、これらの結果を改めて検証し、県当局の更なるご理解をいただけるよう活動してまいります。



救命講習会

2、防災協定に関する活動

平成20年に千葉県との間に締結した防災協定の具体的な活動として昨年度は連絡網を使用して伝達訓練を行いました。その結果を踏まえて連絡網の再整備を行いました。また各地域整備センターとの連携についての検討も行い、より迅速な対応がとれるような体制作りを目指して参ります。

3、会員の親睦に関する活動

会員相互の親睦と連携をより深める為、12月10日に親睦ゴルフ大会と忘年会を開催いたしました。

当日は多くの会員の参加をいただき有意義な一日となりました。

今後も様々な機会により多くの会員の皆様が参加いただける行事を計画して参りたいと思います。

今年度の主な活動についてご報告させていただきましたが、今後も会員皆様方のご協力をお願いいたします。



親睦ゴルフ大会（東千葉CC）

●事業委員会

委員長 中村 伸雄

我が国では歴史的な政権交代が実現し多くの国民は「政治、経済面など従来の行き詰まり感を打破し、将来に希望が持てる政策の実行」を新政権に期待したものの、未だ道筋は見えてきません。

況んや無責任とも思われる党首交代で政策は混迷を深め、誰しも将来の不安や不透明感に日本人としての自信さえ失いつつあるともいえる現状です。

同様に、県造協でも目まぐるしく変わる国政に翻弄され、明確な活路と自信を見失いがちですが、県造協では、広く造園家の「使命」を再確認し千葉県の社会資本整備、環境保全に尽力しているところです。

事業委員会では県との意見交換会や関東甲信造園建設業協会協議会等で活発な協議を重ね、会員企業の共益活動

のみならず社会貢献を通じ公益的な事業を可能な限り実行してまいりましたが、ようやくその取り組みが評価され社会的にも認知されてきております。

そうした中、当協会では「景観整備機構」の指定を受け県内各地で街並みの景観形成活動に寄与してまいりましたが、今年度以降の継続事業として松枯れが著しい九十九里海岸の海岸林の復元に取り組んで行く事としました。

また環境面でも生物多様性や地球共生の理念の基、公益的活動として啓蒙普及活動に取り組んでまいりました。

そして歯止めのかからないダンプ受注や不適格な他業種の入札参加などの入札制度については、適正な受注が図られるよう県当局と協議を重ね要望しているところです。

今年度は特に造園業界が自信を持って活躍でき、そして次世代に継承しなければならない技術、技能の研鑽を深め、信頼される協会となるべく、精力的に活動してまいりましたが未だ道半ばと言わざるを得ません。

今後は更なる努力を重ね造園緑化事業の普及啓発に傾注していく所存ですが、皆様のご協力をお願いいたします。

●技術委員会

委員長 平川 進

技術委員会では、会員企業の技術・技能の向上を目指し活動してきましたので、その主な内容を報告します。

1、公園遊具の日常点検講習

近年、公園遊具の安全対策が強く求められていることから、日常点検の方法について、市町村等で構成する千葉県公園緑地整備促進協議会と共催で現地研修を含め講習会を開催しました。

当日は、会員企業の公園管理担当者や公園設置数の多い市町村の担当者など、約110名が参加し、日本公園施設業協会の講師から、遊具の安全性や点検のポイント、各遊具の点検方法などについて、プロジェクターにより説明を受けるとともに、磯辺第3公園のブランコ、鉄棒、滑り台、スプリング遊具等を対象に、実際に点検を行い日常の点検方法を学び、受講生には修了証が交付されました。



ブランコの点検

2、九十九里浜の海岸林復元支援

協会の社会貢献活動の一環として、造園業界の持つノウハウを活用し、松枯れの著しい九十九里浜の海岸林の再生支援を目的に、県の推進する「法人の森制度」を活用し、クロマツの植樹を始め、関係団体と協働し啓発活動に取り組むため、その事前の調査や測量等を行いました。

今年度中に、県知事と「法人の森」の協定を締結するとともに、来年度の植樹活動に向けて候補地の下草刈りなどを行う予定です。



海岸林の調査

3、門松づくり講習

門松は、正月を彩る重要なアイテムですが、最近ではデパートや銀行などでしか飾らなくなり、多くの個人住宅では市町村等から配布される門松カードで代用されています。

これも緑の保全という意味では当然と考える反面、我が国に営々と続く伝統文化として、次代へ継承していくことが重要です。

このため、船橋高等技術専門校を借用し、会員企業から若手社員30名が参加、我孫子高等技術専門校の鈴木祥次郎先生に講師をお願いし、本格的な門松づくりの講習を行いました。

完成した5対の門松は、千葉県こども病院など5か所の福祉施設等に寄贈しました。



門松の完成



● 広報委員会

委員長 河合 直志

昨年の様な夏の異常気象は、地球温暖化が原因なのかも知れません。緑の担い手となる造園業者は、大げさかも知れませんが地球を救う事に少しでも力になっている事に違いありません。

これからの世代の方々に、美しい地球・美しい国・美しい町並みを伝えて行く為に、造園業界は、この厳しい時代を乗り越えなければいけません。

緑は、贅沢品なのでしょうか？ライフラインが最優先になるのも解りますが、もっともっと長期的に考えると、緑を絶やしてしまう事がどれだけ危険であるかを広報を通じて伝えていければ良いと思っております。

人間より寿命が長い緑は、短期間では復元できません。数年後に、「あの時に緑を増やさなかったから大変な世の中になってしまった！」なんて事にならない様、造園業界はこれからも頑張っていくと思います。

今後とも、新しい情報・御意見・御感想を頂き、誰にでも解り易く、見やすい広報活動が出来るように進めて行きたいと思っております。多くのご協力をお願い致します。

今年度は、日造協千葉県支部の皆さんと、広報委員会で「全国都市緑化ならフェア」の視察研修に行く事が出来ました。奈良の緑・奈良の歴史に触れられて、有意義な視察研修となりました。

● 公益法人制度特別委員会

委員長 森田 政吾

当委員会では、平成22年度の総会に於いて一般社団法人への移行を決議して頂いたことを受け、なるべく早い段階でスムーズに移行できるよう検討・作業を続けています。現在は定款の変更、諸規定の変更、公益目的として認定される事業の組立、会計処理の変更並びに申請に向けての事務作業を進めています。

定款については新しい法律に適合させる為の変更は勿論ですが、これを機に現在、そしてこれからの協会を取り巻く環境に対応すべく協会のあり方についても検討しており、この面での対応も視野に入れて検討しています。今後は業界並びに会員企業、地域の発展は勿論ですが、その為にも公益的な事業を通して緑化や自然環境の必要性を市民の皆さんに認識して貰えるような活動なども多数行わなくてはならないと考えています。

このほか実務的な申請作業は事務局にて進めていただいておりますので、不備があった場合に備えて平成23年の秋までには最初の申請を済ませる予定です。

理事各位には新制度に則した事業内容、予算組みなどにご協力いただくことにならうかと思っておりますし、会員各位並びに関係各位には公益団体としての主旨をおくみ取りいただき、今まで以上に協会活動にご理解ご協力を賜りますよう御願ひ致します。

千葉県造園技能検定推進委員会活動報告

会長 古館 公二

初めに、この造園技能士を取得するためには三つの難関をクリアする事になります。最初は実技作業、これは予め出題された題材を元に2m×3mの枠の中に1級は建仁寺垣・つくばい・延段・飛び石・景石・植栽を製作する作業です。2級も同様に四つ目垣・縁石・敷石・飛び石・二脚鳥居支柱・植栽を製作します。

次に要素試験、これは樹木の枝葉を目視し、予め出題されている一覧表の中から、その樹木に該当する番号を選び解答用紙に番号を記入する（1級第1表5問・第2表15問計20問、2級15問）試験です。尚1問に与えら

れる時間は30秒間となります。この2つを合わせて実技試験です、もちろん両方共一定の基準をクリアしないと不合格となります。

最後は学科試験ですが、これについては（社）千葉県職業能力開発協会が行っており、我々技能検定推進委員会は携わっていませんが一人でも多くの方々に合格して頂く為、外部より専門講師を招き講習会を行っています。

以上が造園技能士を取得する為に必要な作業となります。



さて、今年度の試験ですが、我孫子の高等技術専門校で、実技試験は1・2級共7月24日（土）～26日（月）の3日間午前・午後2回転行い、又要素試験は幕張のテクノピラミットで8月26日（木）2級・1級の順に実施しました。

昨年の夏は猛暑と言うより酷暑の為1級は受験者数37名（合格者18名、合格率48.6%） 2級受験者数95名（合格者35名、合格率36.8%）の方が受験し合格されました。屋根のある屋内での作業とはいえ、梅雨明けの夏の暑さに身体が馴染んでいない中、丸太を立込み、竹を割り、また重い石を据付けたりの作業で、標準作業時間3時間（延長30分減点対象）計3時間30分の制限時間が設けられているにも関わらず、体力・時間との戦いで今年度も1級1名、2級3名の方が熱中症でリタイア、又1・2級とも数名の方が時間内に終了せず未完成となり残念な結果となってしまいました。

会長として感じた事は、資格を取ろうとするならば、常日頃練習を積むのはもちろんですが、体力・気力を身に付ける事も必要だと感じました。又近年、高齢者（昭和10年代生まれ）の方達が数多くチャレンジして来ているのも、合格率に表れているのでは無いかと思われまます。

造園技能士を目指している皆さん一夜漬けでは無く、常日頃の練習を重ねチャレンジして来て下さい。

我々推進委員会も常に全員合格を目標に、試験日の1ヶ月程前から、外部より講師を招き、同じ場所で同じ材料を使い親切丁寧に講習会を開催しています。試験には様々な作業手順が有りますので、合格する為には是非共講習会を受講されます様お勧め致します。

尚、現在推進委員会では検定委員11名、補佐員6名、講師5名（外部）、事務局3名の総勢25名編成で行っています。今後とも皆様方のご協力を宜しくお願い致します。

最後となりますが、この紙面をお借りし行政サイドにお願いをさせていただきます。この制度はいまさら述べるまでも無く、厚生労働省により昭和48年から導入されている国家認定制度ですがなかなか活用されていないのが現実です。この機会に少なくとも業務委託については、造園技能士の資格活用を一般競争入札の応募条件に是非とも盛り込んで頂きたいと記させて、お願いを兼ねた今年度の報告と致します。





お知らせコーナー



平成22年度に優良工事表彰を受けられた会社を紹介します

●千葉県知事 平成22年度優良建設工事表彰



株式会社共楽園緑化土木



株式会社新松戸造園



林造園土木株式会社



藤木園緑化土木株式会社

●第26回都市公園コンクール 国土交通省都市・地域整備局長賞



株式会社新松戸造園

●都市再生機構千葉地域支社 平成22年度優秀工事施工業者表彰



京葉シティーサービス株式会社

造園業の発展への多大な功績等により、表彰された方々を紹介します。(敬称略)

職業能力開発分野功労者 (H22.12.15)

技能検定に係る功労
(知事感謝状)



(株)生光園
中村 伸雄

技能検定委員功労者
(千葉県職業能力開発協会会長表彰)



橋木屋造園(株)
若井 健治

平成22年度 (社) 千葉県造園緑化工事業協会会長表彰 (H22.5.20)

●感謝状



京葉緑化工事(株)
大久保裕昭



(株)生光園
金坂 雅登



進光園緑化(株)
桜井 誠

●造園建設功労賞



(株)飯塚緑化土木
飯塚 靖久



高山総業(株)
大岩 浩典



神鳥造園(株)
神鳥 信也



千葉造園土木(株)
木島 稔雄

●勤続精励功労賞



千葉造園土木(株)
石川 正美



勝田造園(株)
湯浅 栄治

●技術・技能功労賞



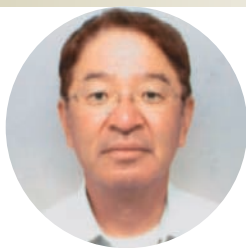
(株)山 洋
赤井 利竹



(株)マスヤ
井野 喜一



(株)三協グリーン
棚倉 正次



フタバ緑化産業(株)
増田 恒雄



(株)マスヤ
丸山 大祐

平成22年度 (社) 日本造園建設業協会会長表彰 (H22.6.22)

●造園建設功労賞



藤木園緑化土木(株)
望月 勝保

●業績表彰



千葉造園土木(株)
佐藤 善一



(株)東松園
鈴木 一彦

平成23年度訓練生募集のお知らせ

基礎から学び、技能を身に付け、
造園に関する仕事に就いて見ませんか！

1 追加募集

訓練科名	訓練課程	訓練期間	募集定員	募 集 期 間 等
造 園 科	普通課程	1年間	若干名	<ul style="list-style-type: none"> 追加募集期間 平成22年12月10日（金）から 平成23年1月31日（月）まで 選考日 平成23年2月8日（火） 選考方法 学科（国語、数学）・適性・面接 合格発表 平成23年2月14日（月）

普通課程造園科(高校を卒業した方、若しくはこれらと同等以上の学力を有すると認められた方)
※1年訓練では次のような訓練をします。

- (1) 学 科…庭園概論（歴史・様式）、栽培法概論、病理および農薬、材料、設計および製図（CAD）
- (2) 実 技…造園実習（垣根・石組み）、栽培実習（薬剤散布・除草）、農業機械使用法（クレーン）
庭園管理実習（樹木の刈り込み、剪定・整姿）、施肥実習（土および肥料準備）
根掘りおよび植栽実習（根巻・支柱）
- (3) 授業料…年額118,800円

2 短期課程造園科募集

区 分	4月入校	7月入校	10月入校	1月入校
募 集 期 間	23.2.1～23.2.24	23.4.26～23.5.24	23.8.1～23.8.23	23.11.1～23.11.25
選 考 日	23.3.7（月）	23.6.2（木）	23.9.1（木）	23.12.6（火）
合 格 発 表	23.3.14（月）	23.6.9（木）	23.9.8（木）	23.12.13（火）
入 校 日	23.4.6（水）	23.7.1（金）	23.10.3（月）	24.1.6（金）

短期課程造園科(学歴は問いません)

※6ヶ月訓練では次のような訓練をします。

- 6ヶ月で造園工事に必要な技術を確実に習得できるよう、実技を中心に各種の垣根
・樹木管理・石組み・ブロックおよびレンガ積み・測量・CAD等約40の作業単位を学びます。

※募集人員…各11名（延べ44名）

※授 業 料…無 料

◎募集内容等の詳細は、千葉県立我孫子校等技術専門校にお問い合わせください。

〒270-1163 我孫子市久寺家684-1
電話 04-7184-6411 FAX 04-7185-0265

<http://www2.ocn.ne.jp/~abkgisen/>

会 員 名 簿

正会員

(五十音順) 平成22年12月現在 145社

社 名	〒	住 所	電 話	FAX	HPアドレス	Eメール
株アート造園ハタケヤマ	274-0054	船橋市金堀町352-1	047(457)4403	047(457)5106		art-zh@fine.ocn.ne.jp
(有)アサヒグリーン	264-0037	千葉市若葉区源町106-2	043(284)4433	043(252)5707	http://www.asahi-green.com	asahi-green@nifty.com
株青野造園土木	270-1432	白井市富士61-4	047(443)4847	047(443)4849		
株青山造園土木	272-0133	市川市行徳駅前4-3-13	047(397)9179	047(397)7800		aoyamazo_en@ybb.ne.jp
株赤 門	285-0002	佐倉市萩山新田545	043(485)1030	043(485)1170	http://www.kk-akamon.co.jp/	sakura@kk-akamon.co.jp
朝生林業株	290-0524	市原市平蔵322	0436(89)2014	0436(89)2800		t.asou@chive.ocn.ne.jp
株荒井造園土木	272-0802	市川市柏井町2-742	047(337)6222	047(337)2431		araizouen@h6.dion.ne.jp
株飯塚造園	287-0217	成田市桜田296	0476(73)3691	0476(73)6641		iizuka.y@viola.ocn.ne.jp
株飯塚緑化土木	278-0041	野田市蕃昌69	04(7129)2171	04(7129)5001		iizuka-r@khaki.plala.or.jp
株飯高造園土木	285-0852	佐倉市青菅265	043(487)3232	043(487)3233		iidaka@catv296.ne.jp
株石川造園土木	273-0018	船橋市栄町1-29-18	047(434)3663	047(434)6453		all-green-i@ishikawa-zoen.com
株伊藤造園	286-0812	成田市水掛45	0476(36)1525	0476(36)1537		itozouen@abelia.ocn.ne.jp
株井上造園	299-0252	袖ヶ浦市勝507	0438(63)0859	0438(63)0839		02tachibana@inouezouen.co.jp
株植 草 園	263-0051	千葉市稲毛区園生町173-1	043(253)3693	043(255)3462	http://www.uekusaen.co.jp	master@uekusaen.co.jp
(有)植清鈴木造園	273-0122	鎌ヶ谷市東初富3丁目9番2号	047(443)3540	047(443)3125		uesei-suzuki@if-n.ne.jp
株植泰造園	272-0832	市川市国分2-16-10	047(372)0358	047(372)0357		suzuki@uetai.co.jp
(有)植辰造園土木	272-0035	市川市新田4-8-16	047(377)6167	047(377)1318		uetatu@icnet.ne.jp
株植忠造園土木	260-0006	千葉市中央区道場北2-18-9	043(224)7611	043(224)7613		uechu@mx2.alpha-web.ne.jp
株植 義	284-0012	四街道市物井1802-25	043(423)1814	043(424)0899		info@e-ueyoshi.co.jp
株ウキガヤ	270-2232	松戸市和名ヶ谷1253	047(391)5161	047(391)5163		yoshida@ukigaya.co.jp
株浦安造園	279-0041	浦安市堀江5-16-22	047(351)4611	047(352)3094		info@urayasouzen.com
株江波戸造園土木	276-0046	八千代市大和田新田917-20	047(450)4014	047(450)2170		ebato@ebato.com
株大作園園芸研究所	275-0017	習志野市藤崎6-19-15	047(472)0738	047(471)5733	http://www.oosaku.co.jp	info@oosaku.co.jp
株加瀬造園	289-2505	旭市鎌数9570-8	0479(63)6750	0479(62)1363		kase-zouen@k9.dion.ne.jp
株勝田造園	285-0845	佐倉市西志津2-22-19	043(487)1430	043(487)1022		katuta-zouen@catv296.ne.jp
株加藤園緑化建設	277-0872	柏市十余ニ287-18	04(7132)2281	04(7133)7479	http://www.kashiwa-cci.or.jp/home/10131/index.htm	ka-katouen@mti.biglobe.ne.jp
株加藤緑花土木	267-0065	千葉市緑区大椎町1251-137	043(294)4655	043(294)4658		kato4655@sirius.ocn.ne.jp
株鎌ヶ谷造園土木	273-0118	鎌ヶ谷市中沢379	047(445)3136	047(445)2200	http://www.kamagaya.com/zouen	zouen@kamagaya.com
株神鳥造園	262-0012	千葉市花見川区千種町357-14	043(259)0843	043(258)8728		info@kamitori.co.jp
株加茂造園	264-0024	千葉市若葉区高品899-1-116	043(287)5231	043(287)5256		kamozo@dolphin.ocn.ne.jp
株川西造園土木	299-0118	市原市椎津1299-2	0436(61)0310	0436(61)0321		kawanisi@tk9.so-net.ne.jp
株川村造園企画	270-1176	我孫子市柴崎台3丁目9番15号	04(7184)5311	04(7183)3315		kawamura-zouen@eos.ocn.ne.jp
(有)共栄緑化	273-0015	船橋市日の出2-2-16	047(431)5368	047(433)9835		kyoeiryokka@nifty.com
株共栄園緑化土木	283-0041	東金市広瀬83	0475(58)5355	0475(58)5357	http://www.8oca.ne.jp/~kyouraku/	kyouraku@aioros.ocn.ne.jp
(有)協和緑地	277-0812	柏市花野井1035-9	04(7133)6772	04(7131)7167		kyowa-0518@peach.ocn.ne.jp
株草 壁 園	272-0022	市川市鬼越1-13-15	047(333)0677	047(335)8043		soumu@kusakabeen.com
株京 葉 園	263-0002	千葉市稲毛区山王町267	043(422)2320	043(422)8875	http://www.keiyoen.com	green@keiyoen.com
株京葉園芸	263-0024	千葉市稲毛区穴川2-8-17	043(254)3231	043(287)9803		info@keiyo-engei.co.jp
株京葉ガーデン	279-0041	浦安市堀江2-18-10	047(354)8854	047(354)8874		mail@keiyo-garden.co.jp
株京葉シティーサービス	260-0842	千葉市中央区南町2-5-15	043(262)2159	043(262)2042		ohta-k@c.kcs.jfe-gr.net
株京葉緑化工事	290-0045	市原市五井南海岸30	0436(21)5365	0436(21)5344	http://www.keioryokka.co.jp	flower@keioryokka.co.jp
株小出造園土木	263-0016	千葉市稲毛区天台5-21-12	043(309)1128	043(309)1228	http://www.woodland-garden.com	woodland7@kar.biglobe.ne.jp
株香樹園緑化建設	283-0048	東金市幸田294	0475(52)1626	0475(52)1564		koujyuen@siren.ocn.ne.jp
株公津園設	286-0003	成田市台方字稷山82-2	0476(26)9538	0476(26)5757		
株光風ガーデン	270-1137	我孫子市岡発戸599-2	04(7182)9876	04(7182)2328		kofu-gdn@violin.ocn.ne.jp



社名	〒	住所	電話	FAX	HPアドレス	Eメール
光陽(株)	285-0859	佐倉市ユーカーが丘4丁目8番5号	043(462)9751	043(462)9704		soumu@koyo-yukari.co.jp
(有)小林大正園	292-0036	木更津市菅生134番地	0438(98)0903	0438(97)0220	http://www.taishouen.co.jp/	info@taishouen.co.jp
小山ガーデン(株)	270-0027	松戸市二ツ木139	047(341)3047	047(346)5449		gkoyama@green.ocn.ne.jp
(株)齊藤造園土木	273-0121	鎌ヶ谷市初富172-7	047(444)3510	047(444)2479		saito-z@jn2.so-net.ne.jp
(株)齊藤緑地建設	271-0082	松戸市二十世紀が丘山町137	047(391)3045	047(392)0815		saito137@dc5.so-net.ne.jp
(株)坂月造園土木	264-0002	千葉市若葉区千城台東1-4-6	043(237)1263	043(237)1289		info@sakaduki.co.jp
(株)佐久間園緑化	289-2132	匝瑳市高1740	0479(72)1888	0479(72)2002		sakumaen@cf7.so-net.ne.jp
(株)三協グリーン	260-0001	千葉市中央区都町2131パークアベニュー102	043(233)0707	043(233)0708		LEK06764@nifty.ne.jp
(株)三協緑化	266-0011	千葉市緑区鎌取町273	043(228)2410	043(228)3588		info@123kyo.co.jp
山晃興業(株)	270-1332	印西市別所599	0476(42)3270	0476(42)8131	http://www.sankou-ib.co.jp	info@sankou-ib.co.jp
(株)三樹園緑化	265-0077	千葉市若葉区御成台3-1168-13	043(236)3952	043(236)3622	http://www.sanjuenryokuka.com/	info@sanjuenryokuka.com
(株)山洋	270-1367	印西市浦部1028-2	0476(42)3899	0476(42)6275	http://www.linkclub.or.jp/~sanyo/	k2sanyo@zd.wakwak.com
(株)志津ガーデン	285-0854	佐倉市上座1178-27	043(489)5824	043(489)4825		shizu-g@catv296.ne.jp
(有)宍倉造園土木	264-0032	千葉市若葉区みつわ台4-16-4	043(252)2068	043(252)2082		sisikura@crux.ocn.ne.jp
(株)篠塚造園土木	270-0135	流山市野々下1丁目399番地	04(7158)3854	04(7158)3744		
(株)島村造園緑化	270-2203	松戸市六高台5-56	047(387)6791	047(387)9494		shimamura-zouen@nifty.com
(株)松月園	270-1327	印西市大森332-1	0476(42)3318	0476(42)8475		shougetu@remus.dti.ne.jp
(有)東海林造園	284-0001	四街道市大日1182-2	043(422)3013	043(423)0846		
(有)白富士園	270-1432	白井市富士21	047(444)1201	047(445)0045		iwasaki-ij@mti.biglobe.ne.jp
進光園緑化(株)	270-1431	白井市根713-8	047(491)0450	047(491)4906		ryokuka@sinkoen.com
新都市緑化(株)	270-0021	松戸市小金原9-15-10	047(341)3811	047(343)8343	http://www.d2.dion.ne.jp/~unaoshi	unaoshi@d2.dion.ne.jp
新日本植産(株)	290-0032	市原市廿五里1071-5	0436(21)3869	0436(22)5633	http://www.ichihara.or.jp/shimihon_syokusan/	sinnihonsyokusan@mtg.biglobe.ne.jp
(株)新松戸造園	270-2224	松戸市大橋809	047(391)2828	047(392)0213		info@shinmatsudo-zouen.com
(株)仁風	260-0013	千葉市中央区中央4-12-12	043(227)5111	043(227)6388		jinpuu@fancy.ocn.ne.jp
(株)砂川園芸	277-0805	柏市大青田1270-1	04(7131)2587	04(7132)2850		
(株)生光園	299-0245	袖ヶ浦市蔵波台6-5-10	0438(62)4075	0438(62)4520	http://www.seikouen-garden.com	info@seikouen-garden.co.jp
(株)石芳園	272-0837	市川市堀之内5-3-1	047(373)3856	047(371)6127		horinouchi@sekihoen.co.jp
総武造園土木(株)	264-0023	千葉市若葉区貝塚2-4-28	043(231)5752	043(231)5362		soubu@viola.ocn.ne.jp
造園土木伊藤園(株)	286-0221	富里市七栄654-55	0476(93)0683	0476(92)5283		zo-itouen@nifty.com
袖ヶ浦興産(株)	299-0243	袖ヶ浦市蔵波26番地2	0438(62)1111	0438(63)0333		so-5303@eos.ocn.ne.jp
(株)染谷園芸	277-0802	柏市船戸1011番地	04(7131)5987	04(7133)9149		someyaengei@kir.biglobe.ne.jp
大一造園建設(株)	270-1104	我孫子市新々田212-2	04(7189)2875	04(7189)4393		nao335@iris.ocn.ne.jp
(株)大樹園	279-0022	浦安市今川1-3-27	047(351)7195	047(355)1971	http://store.shopping.yahoo.co.jp/daijuen/	an-artist@daijuen.jp
(株)高橋造園	267-0066	千葉市緑区あすみが丘5-7-6	043(205)5544	043(205)5545		VZY04211@nifty.ne.jp
高山総業(株)	290-0005	市原市山木1183	0436(41)2378	0436(41)1674	http://www.takayama-s.jp	staff@takayama-s.jp
高山造園土木(株)	290-0011	市原市能満322-1	0436(42)3700	0436(42)3702	http://www.oniwa.e-ichihara.jp	takayama@zouen.biz
拓殖造園土木(株)	264-0014	千葉市若葉区大宮台43番18号	043(236)1128	043(236)1967		takushoku@nifty.com
田中園緑化土木(株)	277-0871	柏市若柴1-12	04(7131)4148	04(7131)4149		tanakaen@jcom.homu.ne.jp
(株)田辺造園	285-0011	佐倉市山崎422-1	043(486)7945	043(486)7946		tanabe-zouen@brown.plala.or.jp
(有)千浜造園	270-1121	我孫子市中峠1279	04(7188)1061	04(7188)1261		land-sc-chihama@msj.biglobe.ne.jp
千葉グリーンサービス(株)	260-0041	千葉市中央区東千葉1-9-1	043(253)2115	043(253)2239	http://www.chiba-green.co.jp	s-kitada@chiba-green.co.jp
千葉グリーンセールス(株)	266-0011	千葉市緑区鎌取町71-6	043(291)2101	043(291)2124	http://www.chibagreensales.co.jp	cg@chibagreensales.co.jp
(株)千葉花壇	263-0043	千葉市稲毛区小仲台8丁目17番1号	043(253)7224	043(287)7807	http://www.chibakadan.co.jp	e-garden@chibakadan.co.jp
千葉高等園芸(株)	275-0013	習志野市花咲2-8-21	047(472)0323	047(472)7942	http://www.5ocn.ne.jp/~hoshi666/	koutouengei@kjc.biglobe.ne.jp
千葉砂防植産(株)	260-0801	千葉市中央区仁戸名町357-30	043(261)3393	043(265)8719		chiba@sabou.co.jp
千葉造園土木(株)	263-0041	千葉市稲毛区黒砂台2-12-7	043(243)7721	043(243)7753	http://www.chibazouen.co.jp	info@chibazouen.co.jp

社名	〒	住所	電話	FAX	HPアドレス	Eメール
千葉北部ニュータウン造園(株)	270-1431	白井市根1659-2	047(497)0010	047(497)0016		chn-shiroi@alpha.ocn.ne.jp
(株)千葉緑化サービス	264-0021	千葉市若葉区若松町496-2	043(421)4105	043(421)4106		c-ryokka@pluto.plala.or.jp
千代田緑化工事(株)	274-0068	船橋市大穴北2-23-17	047(457)3470	047(457)0117		chiyoda-g@ia5.itkeeper.ne.jp
築山緑化建設(株)	273-0012	船橋市浜町3丁目2番地1	047(435)0540	047(437)0709	http://www.tkym-ryokka.co.jp	info@tkym-ryokka.co.jp
(株)東松園	270-2261	松戸市常盤平4-20	047(387)6211	047(384)1820		info@toshouen.co.jp
(株)東城園	260-0042	千葉市中央区椿森6-8-17	043(254)2128	043(254)2126		tojyoen@mapie.ocn.ne.jp
(株)常盤ガーデン	277-0825	柏市布施914	04(7131)6126	04(7132)4414		info@tokiwagarden.co.jp
(株)徳受園	264-0032	千葉市若葉区みつわ台5-21-16	043(207)2855	043(255)9278		tokujuen@tkcnet.ne.jp
(株)トム造園	270-1177	我孫子市柴崎15-10	04(7183)1600	04(7184)6700		tomzouen@apricot.ocn.ne.jp
豊四季造園土木(株)	277-0812	柏市花野井1521	04(7132)1235	04(7132)1245		toyoshikizouen@jcom.home.ne.jp
中村造園土木(株)	299-0118	市原市椎津2643-1	0436(66)7801	0436(66)1070		n-zouen@beige.plala.or.jp
(有)長野造園土木	285-0813	佐倉市石川630-36	043(486)2605	043(486)1410		nagano-z@catv296.ne.jp
(株)流山緑化土木	270-0132	流山市駒木134番地	04(7152)4310	04(7152)4312		nagareyama-ryokka@helen.ocn.ne.jp
(株)成田園芸	286-0111	成田市三里塚1-390	0476(35)1665	0476(35)1482		cne-naritaengei@air.ocn.ne.jp
(株)成田造園土木	286-0035	成田市囲護台1158	0476(28)3161	0476(28)3162		kk-naritazouendoboku@triton.ocn.ne.jp
成田ニュータウン造園(株)	286-0035	成田市囲護台1181-2	0476(22)4476	0476(22)3250		narita-ntz@bz01.plala.or.jp
(株)西船グリーンサービス	273-0045	船橋市山手3丁目14番16号	047(433)0683	047(433)1755		n-green@mvg.biglobe.ne.jp
橋本屋造園(株)	290-0021	市原市山田橋434-21	0436(43)3211	0436(43)3213		hzkh7@ceres.ocn.ne.jp
林園緑地建設(株)	275-0013	習志野市花咲1-10-3	047(472)0818	047(476)6607		hayashien@tea.ocn.ne.jp
林造園土木(株)	260-0001	千葉市中央区都町33-1	043(233)9411	043(233)9412		AEC01214@nifty.ne.jp
フタバ緑化産業(株)	263-0023	千葉市稲毛区緑町2-1-9	043(243)0451	043(244)5739		info@futabaryokuka.co.jp
(有)藤井造園土木	275-0017	習志野市藤崎6-4-26	047(473)2953	047(472)3781	http://www.fujiizoen.co.jp/	info@fujiizoen.co.jp
藤木園緑化土木(株)	275-0024	習志野市茜浜1-6-4	047(453)1031	047(454)1375	http://www6.ocn.ne.jp/~fujikien/	fujikien@triton.ocn.ne.jp
富士造園土木(株)	264-0015	千葉市若葉区大宮台6-18-1	043(265)9966	043(265)9968		fujizoen@beach.ocn.ne.jp
(株)宝珠造園土木	279-0003	浦安市海楽2-4-18	047(380)2510	047(380)1422		yshb22061968@luck.ocn.ne.jp
(株)芳松園	277-0835	柏市松ヶ崎281	04(7144)1641	04(7133)3274		
(有)報徳緑化土木	285-0863	佐倉市白井146-1	043(489)7100	043(489)7080		houtoku@h8.dion.ne.jp
房総グリーンセールス(株)	290-0062	市原市八幡171	0436(41)1860	0436(41)1861		kamura@boso-green.co.jp
(株)北総園芸	286-0221	富里市七栄525-31	0476(93)3456	0476(93)6812		hokuso@mwd.biglobe.ne.jp
(株)北総造園緑化	286-0821	成田市大室1055-1	0476(36)1346	0476(36)2336	http://www.lah.co.jp	info@lah.co.jp
北総緑化開発(株)	285-0812	佐倉市六崎291-3	043(486)0016	043(486)0097		hokusou@bz03.plala.or.jp
(株)堀之内造園	272-0834	市川市国分7-9-19	047(374)2197	047(373)8641		horinouchi-z@mtd.biglobe.ne.jp
(株)マスヤ	299-1603	富津市更和79	0439(67)0055	0439(67)1947		kmasuya@apricot.ocn.ne.jp
増栄産業(株)	299-0242	袖ヶ浦市久保田2171	0438(62)7118	0438(62)5522		
(有)萬華園緑化	260-0808	千葉市中央区星久喜町150-6	043(265)2040	043(266)1644		biohazard@mvp.biglobe.ne.jp
(株)ミヤノ	270-1327	印西市大森513-1	0476(42)8421	0476(42)8159		qq3t4zu9@air.ocn.ne.jp
緑造園土木(株)	265-0053	千葉市若葉区野呂町1793-317	043(228)3681	043(228)4926		t-yasojima@midorizouendoboku.co.jp
三木造園土木(株)	299-1161	君津市北子安1-14-12	0439(52)0559	0439(54)5059	http://www.mitsugi-zd.co.jp	mitsugi@poem.ocn.ne.jp
(株)美浜イーワン	262-0032	千葉市花見川区幕張町1-1319	043(277)8888	043(273)2424	http://homepage2.nifty.com/e-one/	zta11472@nifty.com
(株)ムサシ	299-0233	袖ヶ浦市岩井634	0438(75)3862	0438(75)3180		swrn-musashi@jcom.home.ne.jp
茂手木造園(株)	264-0012	千葉市若葉区坂月町29-1	043(233)1955	043(233)1906	http://www.motegi-zouen.co.jp/	kajii@motegi-zouen.co.jp
(株)森田植物園	273-0044	船橋市行田1-26-33	047(439)3822	047(439)3824		m.k@eos.ocn.ne.jp
(株)八千代グリーンテック	276-0046	八千代市大和田新田446番地241	047(459)9211	047(459)9201		info@y-greentec.co.jp
谷中造園土木(株)	292-0812	木更津市矢那2381	0438(52)2552	0438(52)2858		yanaka_00@celery.ocn.ne.jp
山崎緑化建設(株)	286-0006	成田市北須賀260番地	0476(26)9312	0476(26)1725		yama260@aurora.ocn.ne.jp
(株)山田緑地建設	292-0024	木更津市大寺1060	0438(98)0234	0438(98)0253	http://www6.ocn.ne.jp/~yamada77/	yamadaryokuti@isis.ocn.ne.jp



社名	〒	住所	電話	FAX	HPアドレス	Eメール
(株) ユアサ園芸	272-0811	市川市北方町4-2088	047(339)2444	047(338)4311		yuasaengei@if-n.ne.jp
(株) 横川造園土木	278-0041	野田市蕃昌24-1	04(7129)1166	04(7129)1169		yokokawa@siren.ocn.ne.jp
(株) 横芝緑化	264-0017	千葉市若葉区加曾利町720-4	043(232)5080	043(232)6323	http://www.yokoshibaryokuka.co.jp	info@yokoshibaryokuka.co.jp
横田造園土木(有)	289-1107	八街市八街は2番地	043(443)5858	043(443)5758		y.yokota@titan.ocn.ne.jp
(有)ランディックスガーデン	270-1431	白井市根633-1	047(492)3390	047(492)3335		landx@ams.odn.ne.jp
(株) 緑建	277-0033	柏市増尾4丁目21番1号	04(7172)6487	04(7174)2988		ryokuken@orion.ocn.ne.jp
(資) 林農社	285-0863	佐倉市白井86	043(461)0636	043(461)1652		rinnousya@rinnousya.co.jp
(株) 渡辺造園	289-2315	香取郡多古町御所台173	0479(76)7330	0479(76)2661	http://www.watanabezouen.co.jp	info@watanabezouen.co.jp

賛助会員

3社

社名	〒	住所	電話	FAX	HPアドレス	Eメール
(株) 岩城千葉支店	263-0051	千葉市稲毛区園生町821-3	043(206)7580	043(206)5620	http://www.iwakilandstec.com	wanme@iwakilandstec.com
京成バラ園芸(株)	276-0046	八千代市大和田新田755	047(459)0331	047(459)4779	http://www.keiseirose.co.jp/	tender@keiseirose.co.jp
コマツ建機販売株東京カンパニー	252-0206	神奈川県相模原市中央区淵野辺2-5-8	042(752)7101	042(752)7188	http://www.komatsu.co.jp/tokyo/	shinichi_enomoto@dbtok.komatsu.co.jp

〈土木編上〉

平成22年度版
工事歩掛要覧
(土木編上)

**国土交通省土木工事標準積算基準書
(基礎・河川・道路)の全工種を掲載**

国土交通省土木工事標準積算基準書3編分(共通編、道路編、河川編)の全工種(約300工種)を解説、凡例を用いてこの1冊に掲載。平成22年度版は、機械土工(土砂)をはじめとした改正歩掛を掲載。

経済調査会積算研究会 編 ■B5判 約1,700頁
■定価12,000円(本体11,429円+税)

平成22年度版 工事歩掛要覧〈土木編上・下〉

**国土交通省・農林水産省等の公表歩掛
と計算実例**

※公園緑地工事の標準歩掛は「下巻」に入っております。

国土交通省・農林水産省等の各省庁の積算基準に準拠し、利用頻度の高い歩掛を選択し、使いやすく編集して掲載。

経済調査会積算研究会 編 ■B5判 約1,100頁
■定価11,000円(本体10,476円+税)

〈土木編下〉

平成22年度版
工事歩掛要覧
(土木編下)

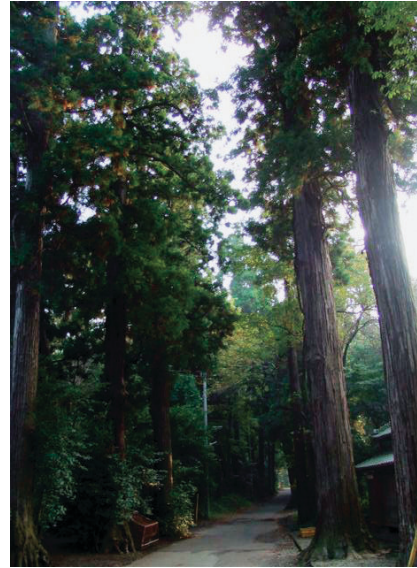
●図書のお申込み・お問い合わせは●

財団法人 **経済調査会** 業務部 第一業務室 〒104-0061 東京都中央区銀座5-13-16 東銀座三井ビル
TEL (03) 3542-9291 FAX (03) 3543-1904

インターネット注文はこちらから [BookけんせつPlaza](#) 検索



全景



参道のスギ並木

千葉県の大樹・古木紹介シリーズ⑭

八雲神社の杉

君津市指定保存樹木（平成21年4月指定）

所在地 千葉県君津市三直1174番地 八雲神社

樹種 スギ（*Cryptomeria japonica*） 樹高：約36m 幹周：5.2m 樹齢：推定700年（案内板）

本樹がある八雲神社は君津市の市街地と田園地帯の境界部にあり、9世紀頃より続く長い歴史を持つ神社である。昔からの参道の両側にはスギの巨木が聳え、神社の境内にもスギをはじめ多くの巨樹が生育している。御神木である本樹は社殿の右手に美しいフォルムで屹立している。気品を感じるその姿からは日本人の心の中に連綿として続いている神の掬り代としての巨樹・古木信仰が実感できるようだ。文化財的価値の高い本殿建築を含めて周囲の空間は癒しの気に満ちている場である。

（樹木医 川西 正）

社団法人 千葉県造園緑化工事業協会

〒260-0001 千葉市中央区都町 2-6-24

TEL 043-234-3040

FAX 043-234-6755

URL <http://www.zouen.or.jp/>

E-mail info@zouen.or.jp

南からの風にのせて!

～よかまち、よか花、よか緑～



第28回全国都市緑化かごしまフェア
花かごしま2011

〈開催期間〉
2011 3.18(金)～5.22(日) 66日間!

メイン会場 吉野公園 サブ会場 鹿児島ふれあいスポーツランド

まちなか会場 鹿児島市
中心市街地

協賛会場 県内各地の
公園・民間施設等

回遊拠点 道の駅、道路、駅・港・
空港の周辺、庁舎等

【主催】鹿児島県、鹿児島市、財団法人都市緑化基金
【運営主体】第28回全国都市緑化かごしまフェア実行委員会 TEL.099-286-2852 (代表)